令和４年度

福知山市企業会計決算審査意見書

福知山市水道事業会計

福知山市下水道事業会計

福知山市病院事業会計

福知山市監査委員

監査第３６７号
令和５年８月３０日

福知山市長　大　橋　一　夫　様

福知山市監査委員　長　坂　　勉

福知山市監査委員　中　嶋　　守

決算審査意見について

地方公営企業法第３０条第２項の規定により審査に付された令和４年度福知山市企業会計決算を審査した結果について、別紙のとおりその意見を提出します。

令和４年度福知山市企業会計決算審査意見書

目　　次

審査の対象　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

審査の期間　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

審査の方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

審査の結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

水道事業会計

１　業務実績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

２　予算執行状況について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

３　経営状況（損益収支）について　・・・・・・・・・・・・・・・・　８

４　財政状況（貸借対照表）について　・・・・・・・・・・・・・・・　１０

５　キャッシュ・フローについて　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５

６　むすび　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６

水道事業会計決算審査資料

１　損益計算書構成並びにすう勢比率表　・・・・・・・・・・・・・　１９

２　貸借対照表構成並びにすう勢比率表　・・・・・・・・・・・・・　２０

３　令和４年度配水量調べ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１

４　企業債の償還予定表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２２

下水道事業会計

１　業務実績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３

２　予算執行状況について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６

３　経営状況（損益収支）について　・・・・・・・・・・・・・・・・　２８

４　財政状況（貸借対照表）について　・・・・・・・・・・・・・・・　３１

５　キャッシュ・フローについて　・・・・・・・・・・・・・・・・・　３６

６　むすび　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３７

下水道事業会計決算審査資料

１　損益計算書構成並びにすう勢比率表　・・・・・・・・・・・・・　４０

２　貸借対照表構成並びにすう勢比率表　・・・・・・・・・・・・・　４１

３　企業債の償還予定表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４２

病院事業会計

１　業務実績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４３

２　予算執行状況について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４７

３　経営状況（損益収支）について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５０

４　財政状況（貸借対照表）について　・・・・・・・・・・・・・・・・・　５４

５　キャッシュ・フローについて　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６０

６　むすび　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６１

病院事業会計決算審査資料

１　損益計算書構成並びにすう勢比率表〔市民病院〕　・・・・・・　６３

２　損益計算書構成並びにすう勢比率表〔大江分院〕　・・・・・・　６４

３　貸借対照表構成並びにすう勢比率表〔市民病院〕　・・・・・・　６５

４　貸借対照表構成並びにすう勢比率表〔大江分院〕　・・・・・・　６６

５　診療科目別・月別入院患者数の状況表〔市民病院〕　・・・・・　６７

６　診療科目別・月別外来患者数の状況表〔市民病院〕　・・・・・　６８

７　診療科目別・月別患者数の状況表〔大江分院〕　・・・・・・・　６９

８　企業債の償還予定表〔市民病院〕　・・・・・・・・・・・・・・　７０

９　企業債の償還予定表〔大江分院〕　・・・・・・・・・・・・・・　７１

表記に関する注意事項

１　表中で割合を算出しているものは、小数点以下第3位を四捨五入している。

２　表中の割合は、内訳の計と合計 100％と一致しない場合がある。

決 算 審 査 意 見 書

審査の対象

福知山市水道事業会計決算

福知山市下水道事業会計決算

福知山市病院事業会計決算

審査の期間

令和5年6月23日から令和5年8月18日まで

審査の方法

決算審査は、市長から送付された決算諸表が法令に準拠して作成され、事業の財政状態並びに経営成績が適正に表示されているかどうかを、会計帳簿、証ひょう書類と照合したほか、関係職員の説明を聴取して実施した。

審査の結果

決算書類は、地方公営企業関係法令にしたがって作成されており、財政状態及び経営成績は適正に表示されているものと認めた。

なお、財政状態及び経営成績について、計数を分析比較して検討した概数は、次のとおりである。

福 知 山 市 水 道 事 業 会 計

水　道　事　業

1　業務実績

令和4年度末の給水戸数は、前年度に比べ 241 戸(0.67%)増加し、3 万 6,375 戸となっている。

また、給水人口では、前年度に比べ 564 人(0.74%)減少し、7 万 5,206 人となり、総人口 7 万 5,471 人に対する普及率は 99.65%となっている。

年間給水量は、前年度に比べ 11 万 8,737 ㎥(1.29%)減少し、911 万 2,511 ㎥となっている。これは予算に定められた年間総給水量 925 万 3,000 ㎥の 98.48%である。

一方、給水量 1 ㎥当たりの損益については、10.90 円の損失となっているが、当年度の収支差引は 1 億 1,196 万 7,091 円の純利益となっている。

業務実績を前年度と比較すると次のとおりである。

＜業務実績前年度比較＞

項　　目	令和4年度	令和3年度	増減	摘　　要
総　世　帯　数(世帯)	36,623	36,412	211	年度末現在
総　　人　　口（人）①	75,471	76,037	△566	年度末現在
計画給水人口（人）	79,330	79,330	－	
現在給水人口（人）②	75,206	75,770	△564	年度末現在
普　　及　　率（%）	99.65	99.65	－	②／①×100
給　水　戸　数（戸）	36,375	36,134	241	令和4年度予算に定めた業務予定量 36,050戸
年間配水量（㎥）③	11,035,766	11,223,260	△187,494	
年間給水量（㎥）④	9,112,511	9,231,248	△118,737	令和4年度予算に定めた業務予定量 9,253,000㎥
有収水量率（%）	82.57	82.25	0.32	④／③×100
職　　員　　数（人）	28	28	－	年度末現在
給水量1㎥当たり給水原価（円）	192.09	183.21	8.88	経常費用(総費用)−(受託工事費+不用品売却原価)−長期前受金戻入／年間給水量
給水量1㎥当たり供給単価（円）	181.19	180.17	1.02	給水収益／年間給水量
給水量1㎥当たり損益（円）	△ 10.90	△3.04	△7.86	供給単価−給水原価

有収水量率は 82.57％で、前年度に比べ 0.32 ポイント上回っている。

また、給水量 1 ㎥当たりの給水原価は、前年度に比べ 8.88 円増加し 192.09 円、供給単価は 1.02 円増加し 181.19 円となっている。その結果、給水量 1 ㎥当たりの損益としては 10.90 円の損失となっており、前年度に比べると 7.86 円損失が増加している。

配水量に対する効率を年度別に比較すると次のとおりである。

＜配水量等年度別比較＞

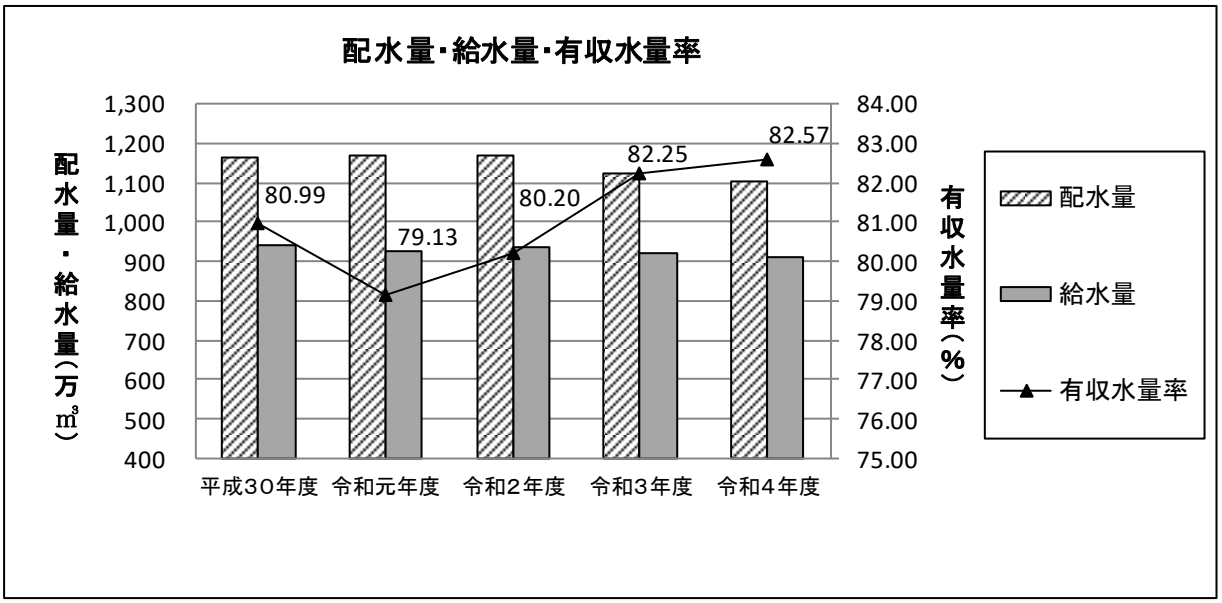
（単位：㎥・％）

区　分	令和４年度		令和３年度		令和２年度		令和４年度対令和３年度	
		構成比率		構成比率		構成比率	比較増減	増減率
配　水　量	11,035,766	100.00	11,223,260	100.00	11,670,947	100.00	△ 187,494	△ 1.67
１　有効水量	9,924,643	89.93	10,093,824	89.94	10,154,555	87.01	△ 169,181	△ 1.68
(1)有収水量	9,112,511	82.57	9,231,248	82.25	9,360,120	80.20	△ 118,737	△ 1.29
(2)無収水量	812,132	7.36	862,576	7.69	794,435	6.81	△ 50,444	△ 5.85
２　無効水量	1,111,123	10.07	1,129,436	10.06	1,516,392	12.99	△ 18,313	△ 1.62

有効水量は、前年度と比較して 16 万 9,181 ㎥（1.68％）減少している。

無効水量は、前年度より 1 万 8,313 ㎥（1.62％）減少し 111 万 1,123 ㎥となり、配水量に対する割合は、前年度より 0.01 ポイント増加し、前年度と同程度の 10.07％となっている。

最近5か年の配水量、給水量、有収水量率の推移をグラフに示すと次の図のとおりである。



最近5か年の配水量及び給水量は大きな変化はなく推移している。

配水量に対する給水量の比率を示す有収水量率は、配水管布設替えによる老朽管の更新や包括的民間委託業者の漏水調査及び漏水箇所の修繕などが進み、令和4年度は、前年度に比べ 0.32 ポイント向上している。

2 予算執行状況について（消費税及び地方消費税を含む。）

（1）収益的収支

事業収益について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

＜収益的収入＞

（単位：円・％）

科目	予算額（うち前年度予算繰越額）	構成比率 4年度	構成比率 3年度	決算額（うち仮受消費税及び地方消費税）	構成比率 4年度	構成比率 3年度	予算額に対する決算割合 4年度	予算額に対する決算割合 3年度
事業収益	2,413,443,000 (4,904,000)	100.00	100.00	2,401,445,421	100.00	100.00	99.50	98.36
営業収益	1,870,691,000 (4,904,000)	77.51	78.83	1,860,289,318 (167,800,643)	77.47	78.82	99.44	98.35
営業外収益	534,719,000	22.16	20.84	535,036,107 (131,533)	22.28	21.18	100.06	99.98
特別利益	8,033,000	0.33	0.33	6,119,996	0.25	－	76.19	－

予算額に対する決算割合は 99.50％で、前年度に比べ 1.14 ポイント上回っている。

事業費用について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

＜収益的支出＞

（単位：円・％）

科目	予算額（うち前年度予算繰越額）	構成比率 4年度	構成比率 3年度	決算額（うち仮払消費税及び地方消費税）	構成比率 4年度	構成比率 3年度	予算額に対する決算割合 4年度	予算額に対する決算割合 3年度
事業費用	2,334,233,000 (40,197,000)	100.00	100.00	2,198,413,055	100.00	100.00	94.18	94.23
営業費用	2,174,947,316 (40,197,000)	93.18	90.23	2,041,327,371 (77,221,551)	92.85	89.73	93.86	93.71
営業外費用	157,085,684	6.73	9.67	157,085,684	7.15	10.27	100	100.00
予備費	2,200,000	0.09	0.10	0	－	－	－	－

予算額に対する決算割合は 94.18％で、前年度に比べ 0.05 ポイント下回っている。

（2）資本的収支

資本的収支について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

＜資本的収支＞

（単位:円・%）

科目		予算額（うち前年度予算繰越額）	構成比率 4年度	構成比率 3年度	決算額（うち仮受・仮払消費税及び地方消費税）	構成比率 4年度	構成比率 3年度	予算額に対する決算割合 4年度	予算額に対する決算割合 3年度
資本的収入		1,801,501,000 (235,082,000)	100.00	100.00	1,214,819,830	100.00	100.00	67.43	58.75
	企業債	1,288,700,000 (215,800,000)	71.53	66.62	781,800,000	64.36	49.57	60.67	43.72
	負担金	115,560,000 (19,282,000)	6.41	6.58	40,397,910 (107,181)	3.33	6.75	34.96	60.22
	加入金	59,966,000	3.33	3.50	55,684,200 (5,062,200)	4.58	6.74	92.86	113.08
	出資金	219,312,000	12.17	15.21	219,311,116	18.05	25.89	100.00	100.00
	補助金	114,527,000	6.36	7.85	114,581,000	9.43	11.04	100.05	82.67
	固定資産売却代金	3,436,000	0.19	0.24	3,045,604	0.25	－	88.64	－
資本的支出		3,006,697,000 (320,975,000)	100.00	100.00	2,361,841,247	100.00	100.00	78.55	70.65
	建設改良費	2,101,478,000 (320,975,000)	69.89	62.29	1,456,622,955 (110,012,540)	61.67	46.62	69.31	52.87
	企業債償還金	905,219,000	30.11	37.71	905,218,292	38.33	53.38	100.00	100.00
収支不足額		△1,205,196,000	－	－	△1,147,021,417	－	－	95.17	89.54
補てん財源	損益勘定留保資金	1,016,252,000	84.32	85.71	956,051,522	83.35	89.23	94.08	93.22
	減債積立金	100,000,000	8.30	4.42	100,000,000	8.72	4.94	100.00	100.00
	消費税及び地方消費税資本的収支調整額	88,944,000	7.38	9.87	90,969,895	7.93	5.83	102.28	52.93
	計	1,205,196,000	100.00	100.00	1,147,021,417	100.00	100.00	95.17	89.54

決算額における資本的収入額は12億1,481万9,830円、資本的支出額は23億6,184万1,247円で、収支不足額11億4,702万1,417円は、補てん財源の損益勘定留保資金9億5,605万1,522円、減債積立金1億円、消費税及び地方消費税資本的収支調整額9,096万9,895円で補てんされている。

3 経営状況（損益収支）について （消費税及び地方消費税を除く。）

損益収支の状況を年度別に比較すると、次のとおりである。

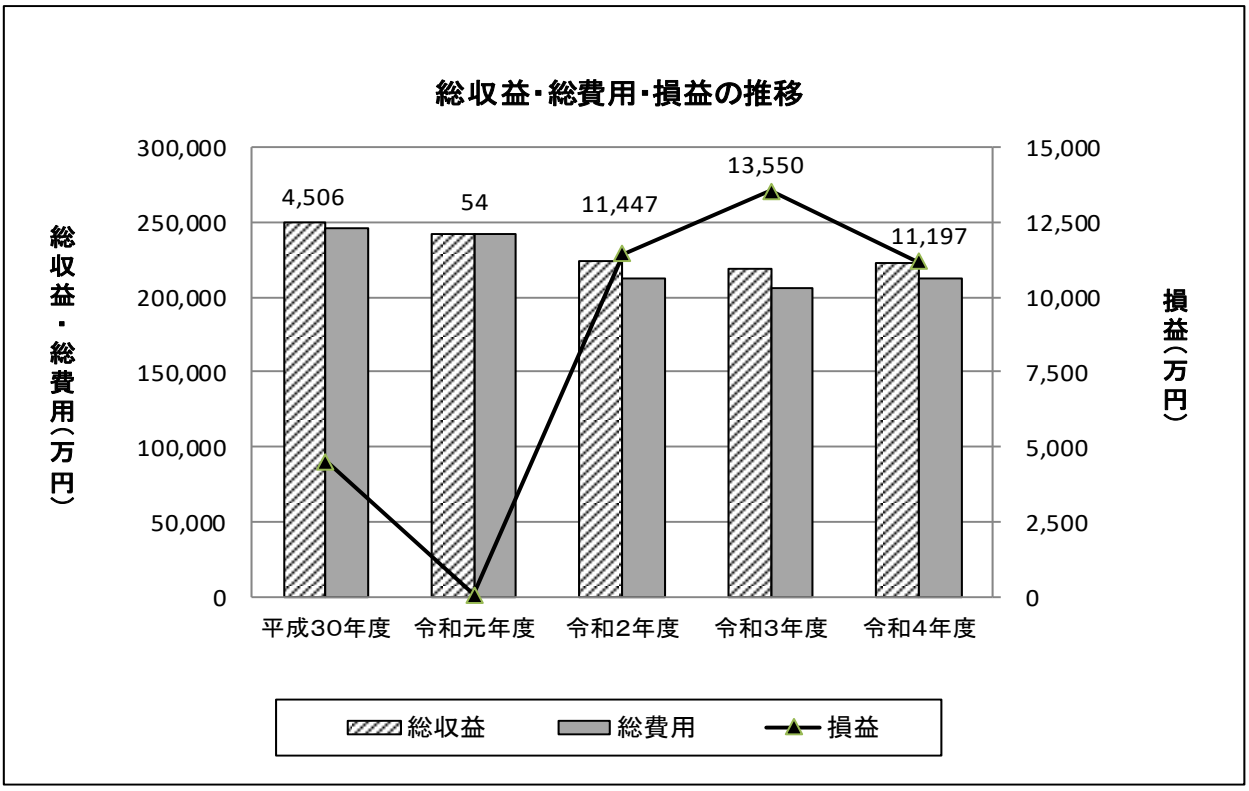
＜損益収支の年度別比較＞

（単位：円・％）

区　分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和4年度対令和3年度	
				比較増減	増減率
総　収　益	2,233,583,156	2,194,954,279	2,241,024,247	38,628,877	1.76
総　費　用	2,121,616,065	2,059,450,383	2,126,558,568	62,165,682	3.02
損　　益	111,967,091	135,503,896	114,465,679	△23,536,805	△17.37

損益は、前年度に比べ総収益が 3,862 万 8,877 円、総費用が 6,216 万 5,682 円と共に増加した。総収益が総費用を上回り 1 億 1,196 万 7,091 円の黒字となっており、損益収支は前年度に比べ 2,353 万 6,805 円減少している。

総収益、総費用及び損益の最近5か年の推移は下記の図のとおりである。



平成 30 年度以降５年連続で黒字である。

令和４年度の損益収支は、令和３年度と比較すると下回るものの、令和２年度に大きく改善した損益収支と同程度の黒字決算となっている。

事業費用を性質別に分類して、年度別に比較すると次のとおりである。

＜性質別に分類した事業費用の年度別比較＞

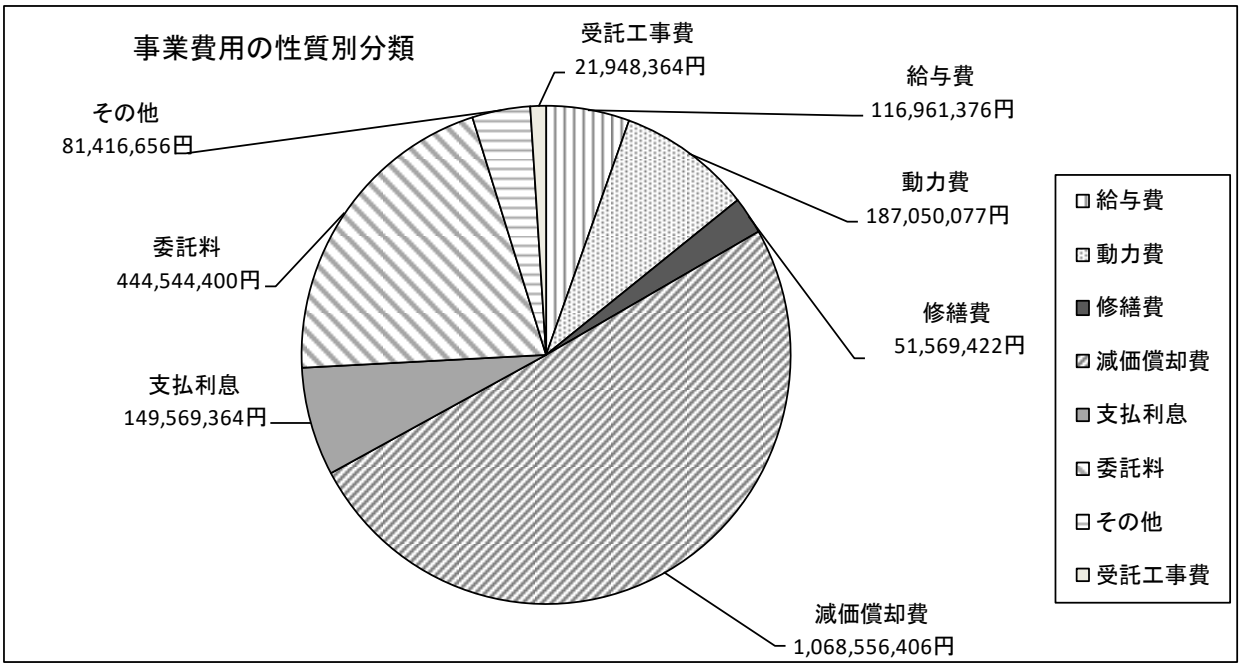
（単位:円・%）

性質別分類	令和４年度		令和３年度		令和２年度		令和4年度対令和3年度	
	金　額	構成比率	金　額	構成比率	金　額	構成比率	比較増減	増減率
給　与　費	116,961,376	5.51	117,875,375	5.72	114,485,187	5.38	△913,999	△0.78
動　力　費	187,050,077	8.82	137,355,882	6.67	146,222,970	6.88	49,694,195	36.18
修　繕　費	51,569,422	2.43	26,524,685	1.29	38,601,199	1.82	25,044,737	94.42
減価償却費	1,068,556,406	50.37	1,094,293,366	53.14	1,098,986,671	51.68	△25,736,960	△2.35
支払利息	149,569,364	7.05	165,060,361	8.01	180,587,651	8.49	△15,490,997	△9.39
委　託　料	444,544,400	20.95	442,605,076	21.49	436,190,700	20.51	1,939,324	0.44
そ　の　他	81,416,656	3.84	70,544,935	3.43	76,763,910	3.61	10,871,721	15.41
受託工事費	21,948,364	1.03	5,190,703	0.25	34,720,280	1.63	16,757,661	322.84
計	2,121,616,065	100.00	2,059,450,383	100.00	2,126,558,568	100.00	62,165,682	3.02

（注）給与費は、給料、手当等、報酬、法定福利費、賞与引当金繰入額である。

事業費用は、前年度に比べ 6,216 万 5,682 円(3.02%)増加している。

性質別に分類した費用は、給与費・減価償却費・支払利息を除き前年度に比べて増加しており、その主なものは動力費・修繕費・受託工事費等である。



4 財政状況（貸借対照表）について

（1）資 産

固定資産・流動資産を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜資産の前年度比較＞

（単位：円）

区　分	令和4年度	令和3年度	増　減
固定資産	22,218,878,024	21,899,465,127	319,412,897
有形固定資産	21,967,222,904	21,886,860,067	80,362,837
無形固定資産	7,449,000	10,958,800	△3,509,800
投資その他の資産	244,206,120	1,646,260	242,559,860
流動資産	1,225,244,884	1,638,407,277	△413,162,393
現金預金	878,807,361	1,303,908,509	△425,101,148
未収金	310,325,088	232,182,694	78,142,394
貸倒引当金	△4,039,367	△2,774,984	△1,264,383
貯蔵品	39,432,072	38,485,278	946,794
前払金	－	62,800,000	△62,800,000
前払費用	－	8,470	△8,470
その他流動資産	719,730	3,797,310	△3,077,580
資産合計	23,444,122,908	23,537,872,404	△93,749,496

資産は、前年度に比べ 9,374 万 9,496 円（0.40％）減少している。

固定資産は、222 億 1,887 万 8,024 円で前年度に比べ 3 億 1,941 万 2,897 円（1.46％）増加している。

流動資産は、12 億 2,524 万 4,884 円で前年度に比べ 4 億 1,316 万 2,393 円（25.22％）減少している。

貯蔵品（材料、量水器等）のたな卸については、現品過不足なく正確に処理されている。

有形固定資産の増減状況は、次のとおりである。

＜有形固定資産の増減状況＞

（単位:円）

項　　目	増加したもの		減少したもの		増　減
	金　額	説　明	金　額	説　明	
土　　地	－		3,045,604	土地 3,045,604	△3,045,604
建　　物	7,388,847	施設用建物 7,388,847	－		7,388,847
構　築　物	515,742,196	送水管 147,269,508 原水及び浄水設備 4,043,139 配水管 339,203,007 配水設備 17,894,274 その他構築物 7,332,268	8,097,940	配水管 7,939,279 配水設備 158,661	507,644,256
機械及び装置	178,924,345	電気設備 84,555,025 ポンプ設備 28,627,114 塩素滅菌設備 2,154,309 量水器 1,416,538 その他機械装置 62,171,359	589,608	量水器 589,608	178,334,737
車両運搬具	1,797,755	車両運搬具 1,797,755	1,442,835	車両運搬具 1,442,835	354,920
工具器具備品	23,604,404	工具器具備品 23,604,404	227,200	工具器具備品 227,200	23,377,204
建設仮勘定	441,416,088	振替増分 441,416,088	19,031,000	精算振替減分 19,031,000	422,385,088
計	1,168,873,635	－	32,434,187	－	1,136,439,448

有形固定資産の差引増加額は、11 億 3,643 万 9,448 円である。

年度末における有形固定資産の現在高は 404 億 1,463 万 3,384 円で減価償却累計額 184 億 4,741 万 480 円を控除すると年度末の償却未済額は 219 億 6,722 万 2,904 円である。

債権放棄により不納欠損処分されたものは、次のとおりである。

＜不納欠損処分の内訳＞

債権名	人数(人)	件数(件)	金額(円)	理由別内訳			
水 道 料 金	146	519	1,037,420	生活困窮	11 人	51 件	79,684 円
				破産免責	7 人	20 件	35,866 円
				時効到来	128 人	448 件	921,870 円
計	146	519	1,037,420				

債権放棄は、福知山市債権管理条例第 11 条第 1 項各号の規定により行われており、不納欠損は前年度に比べ 44 人、82 件、1 万 9,937 円減少している。

(2) 負 債

固定負債を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜固定負債の前年度比較＞

(単位:円)

科 目	令和4年度	令和3年度	増 減
企 業 債	9,321,484,949	9,403,378,999	△81,894,050
引 当 金	124,889,406	124,889,406	0
計	9,446,374,355	9,528,268,405	△81,894,050

固定負債は、前年度に比べ 8,189 万 4,050 円(0.86%)減少して 94 億 4,637 万 4,355 円となっている。

企業債は、翌年度の償還額が流動負債に振り替えられたことにより 8 億 6,369 万 4,050 円減少したが、新規借入れが 7 億 8,180 万円あるため 8,189 万 4,050 円の減少となっている。引当金については、前年度と増減はない。

流動負債を前年度と比較すると次のとおりで、不良債務はない。

＜流動負債の前年度比較＞

（単位：円）

科　　目	令和4年度	令和3年度	増　　減
企　　業　　債	863,694,050	905,218,292	△41,524,242
未　　払　　金	133,459,797	326,250,238	△192,790,441
前　　受　　金	237,100	152,600	84,500
預　　り　　金	25,770,920	20,771,316	4,999,604
引　　当　　金	14,496,518	13,075,673	1,420,845
そ の 他 流 動 負 債	719,730	3,797,310	△3,077,580
計	1,038,378,115	1,269,265,429	△230,887,314

流動負債は、前年度に比べ 2 億 3,088 万 7,314 円（18.19％）減少し、10 億 3,837 万 8,115 円となっている。その主な要因は、企業債が 4,152 万 4,242 円減少し、工事代金などにかかる未払金が 1 億 9,279 万 441 円減少したことが主な要因である。

繰延収益を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜繰延収益の前年度比較＞

（単位：円）

科　　目	令和4年度	令和3年度	増　　減
長　期　前　受　金	13,206,044,473	12,971,950,421	234,094,052
長期前受金収益化累　計　額	△6,423,499,311	△6,077,158,920	△346,340,391
計	6,782,545,162	6,894,791,501	△112,246,339

繰延収益は、前年度に比べ 1 億 1,224 万 6,339 円（1.63％）減少し、67 億 8,254 万 5,162 円となっている。

（3）資本金

資本金を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜資本金の前年度比較＞

（単位：円）

科　　目	令和4年度	令和3年度	増　　減
資　本　金	4,188,402,590	3,929,091,474	259,311,116
自己資本金	4,188,402,590	3,929,091,474	259,311,116
固有資本金	1,356,798,305	1,356,798,305	0
出　資　金	1,555,700,714	1,336,389,598	219,311,116
組入資本金	1,275,903,571	1,235,903,571	40,000,000

資本金は前年度に比べ2億5,931万1,116円（6.60%）増加し、41億8,840万2,590円となっている。

出資金は、一般会計からの繰入金により前年度に比べ2億1,931万1,116円（16.41%）増加している。

組入資本金は、未処分利益剰余金からの組み入れにより前年度に比べ4,000万円（3.24%）増加している。

（4）剰余金

剰余金を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜剰余金の前年度比較＞

（単位：円）

科　　目	令和4年度	令和3年度	増　　減
剰　余　金	1,988,422,686	1,916,455,595	71,967,091
資本剰余金	1,375,231,902	1,375,231,902	0
受贈財産評価額	146,149,849	146,149,849	0
国府補助金	218,205,663	218,205,663	0
工事負担金	67,146,954	67,146,954	0
その他資本剰余金	943,729,436	943,729,436	0
利益剰余金	613,190,784	541,223,693	71,967,091
減債積立金	293,538,693	258,034,797	35,503,896
建設改良積立金	107,685,000	107,685,000	0
当年度未処分利益剰余金	211,967,091	175,503,896	36,463,195

剰余金は、前年度に比べ7,196万7,091円（3.76%）増加して19億8,842万2,686円となっている。

資本剰余金に増減はなく、利益剰余金のうち減債積立金は3,550万3,896円、当年度未処分利益剰余金は3,646万3,195円増加している。

5 キャッシュ･フローについて

水道事業会計におけるキャッシュ・フローは以下のとおりである。

＜キャッシュ･フローの状況＞

（単位:円）

区　　分	金　　額
A　資金期首残高	1,303,908,509
①　業務活動によるキャッシュ・フロー	807,066,673
②　投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,328,060,645
③　財務活動によるキャッシュ・フロー	95,892,824
B　資金増減額　（①＋②＋③）	△425,101,148
C　資金期末残高　（A＋B）	878,807,361

キャッシュ･フロー計算書の資金期末残高は、貸借対照表における流動資産の現金預金の額と一致している。

6 む す び

業務実績をみると、令和4年度末の給水戸数は前年度に比べ 241 戸増加し、3 万 6,375 戸となっている。給水人口の減少や、単身世帯の増加等によって、近年減少傾向にあった1戸あたりの年間使用量は、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛等の影響もあり増加したが、令和3年度は再び減少に転じた。令和4年度は更に減少し、前年度に比べ 4.95 ㎥(1.94%)減の 250.52 ㎥となっている。

今後も人口の減少が見込まれることから、有収水量の減少は緩やかながら続いていくものと考えられるため、今後とも、水需要の動向を見据えた事業運営が求められる。

(参考資料)

項　　目	令和４年度	令和３年度	令和２年度
給水戸数　　(戸)	36,375	36,134	35,919
有収水量　　(㎥)	9,112,511	9,231,248	9,360,120
一戸当り使用量 (㎥)	250.52	255.47	260.59

令和4年度の損益は、次のとおりである。

事業収益については、給水収益が前年度と比較して減少したが、受託工事収益の増加や営業外収益における電気料金の高騰分を補てんするための他会計補助金の増加等により、前年度に比べ 3,862 万 8,877 円(1.76%)の増収となった。

事業費用については、性質別分類によると減価償却費等が減少したものの、その一方で受託工事費、動力費、修繕費等が増加しており、費用全体では前年度決算に比べ 6,216 万 5,682 円(3.02%)の増加となっている。

この結果、当年度収支は 1 億 1,196 万 7,091 円の純利益を計上し、前年度に引き続き黒字決算となっている。

債権の放棄による不納欠損処分は、146 人、519 件、103 万 7,420 円で、前年度に比べると 44 人、82 件、1 万 9,937 円の減少となっている。

不納欠損の処理については、今後も法令等を遵守し、適正に処理されたい。また、負担の公平性を確保するため、債権管理の適正を期するとともに、新たな滞納者を発生させない早期徴収体制の強化を講じるなど、滞納の長期化を防止し収納率の向上に継続して努められたい。

企業債残高は、前年度に比べ 1.20%減少し、101 億 8,517 万 8,999 円となっている。企業債の支払利息は 9.39%減少し、1 億 4,956 万 9,364 円である。今後、管路の老朽化に伴う更新事業などが控えており、将来的な収支状況の推移も踏まえ計画的な起債の借入や償還を行う必要がある。

次に経営分析からみた経営の状況は以下のとおりである。

① 流動比率については、一年間の支払い能力を示し安全性を判断する指標であり、100%以上ある

ことが必要であるとされている。前年度と比べ11.08ポイント減少して118.00%となっているが、必要とされる数値は超えており、全体として健全な財政状況であると認められることから、引き続き財政基盤の強化に努められたい。

② 固定資産回転率については、生産設備がどの程度経営活動に有効活用されたかを判断する指標として高いほど良いとされているが、前年度から比べて 0.001 回減少しているものの、前年度と同程度の 0.076 回となっている。

③ 固定長期適合率については、固定資産が資本の範囲内で調達されているかを示す指標で100%以下が健全とされており、前年度と比べ 0.83 ポイント増加し、99.17%となっている。

④ 営業利益率については、利益幅の程度を示す指標であり高い方が良好とされているものであるが、前年度と比べ 4.50 ポイント下降し、△16.05%となっている。今後も営業費用の削減を図るなど経営の更なる効率化を図り、利益の向上に向けてより一層の努力が必要である。

（参考資料）

① 流動比率 ＝ 流動資産 ／ 流動負債 × 100

令和４年度	令和３年度
118.00%	129.08%

② 固定資産回転率 ＝ 営業収益－受託工事収益 ／ （期末固定資産＋期首固定資産）÷2

令和４年度	令和３年度
0.076回	0.077回

③ 固定長期適合率 ＝ 固定資産 ／ 自己資本＋固定負債＋繰延収益 × 100
（自己資本＝自己資本金+剰余金）

令和４年度	令和３年度
99.17%	98.34%

④ 営業利益率 ＝ 営業利益 ／ 営業収益 × 100

令和４年度	令和３年度
△ 16.05%	△ 11.55%

令和4年度の決算状況をみると、当年度収支は 1 億 1,196 万 7,091 円の純利益を計上し、過去5年連続して黒字となっており、その他各種財務指標についても、一定の成果が図られていると認められた。

しかし、水道事業を取り巻く昨今の環境は、人口の減少など社会的な要因により経営基盤の根幹をなす給水収益の大きな伸びが期待できない状況にある。そんな中、老朽化した主要設備や管路の更新などに多額の設備投資が必要となっており、加えて世界情勢に起因する動力費・資材の高騰による費用の増加も懸念され、財源の確保をはじめとして、今後も厳しい経営状況が続くものと予想される。

設備関係においては、令和4年度は、令和3年度に引き続き水道管路緊急改善事業や老朽化した

配水管の布設替工事が行われたが、これらの整備事業は、将来にわたって安心・安全な水道水を安定的に供給していく上で必要不可欠であることから、今後も計画的な施設更新を行われたい。

令和元年 12 月に新たな「福知山市水道事業ビジョン」が策定され、令和2年 12 月には新たな「水道事業経営戦略」も策定されたところである。今後とも水道事業ビジョンや経営戦略に基づき経営の効率化を進め、安全な水を提供するため水道施設を適切に維持管理するとともに強靭で安定した施設整備に向けて更新事業の取り組みを進めていただきたい。

また、更なる業務の効率化と市民サービスの向上を図るため、引き続き包括的民間委託業務に対するモニタリングの実施、指導及び監督に努められたい。

水道は市民生活に欠かすことのできない重要なライフラインであり、安心・安全で良質な水を安定的に供給することは水道事業の責務であるが、併せて、独立採算制を原則とした公営企業として、将来にわたる安定した経営を持続させることも責務として求められており、今後も安全で安定した水道サービスが提供されることを望むものである。

1　損益計算書構成並びにすう勢比率表

（注）すう勢比率は、令和2年度を100%とする。

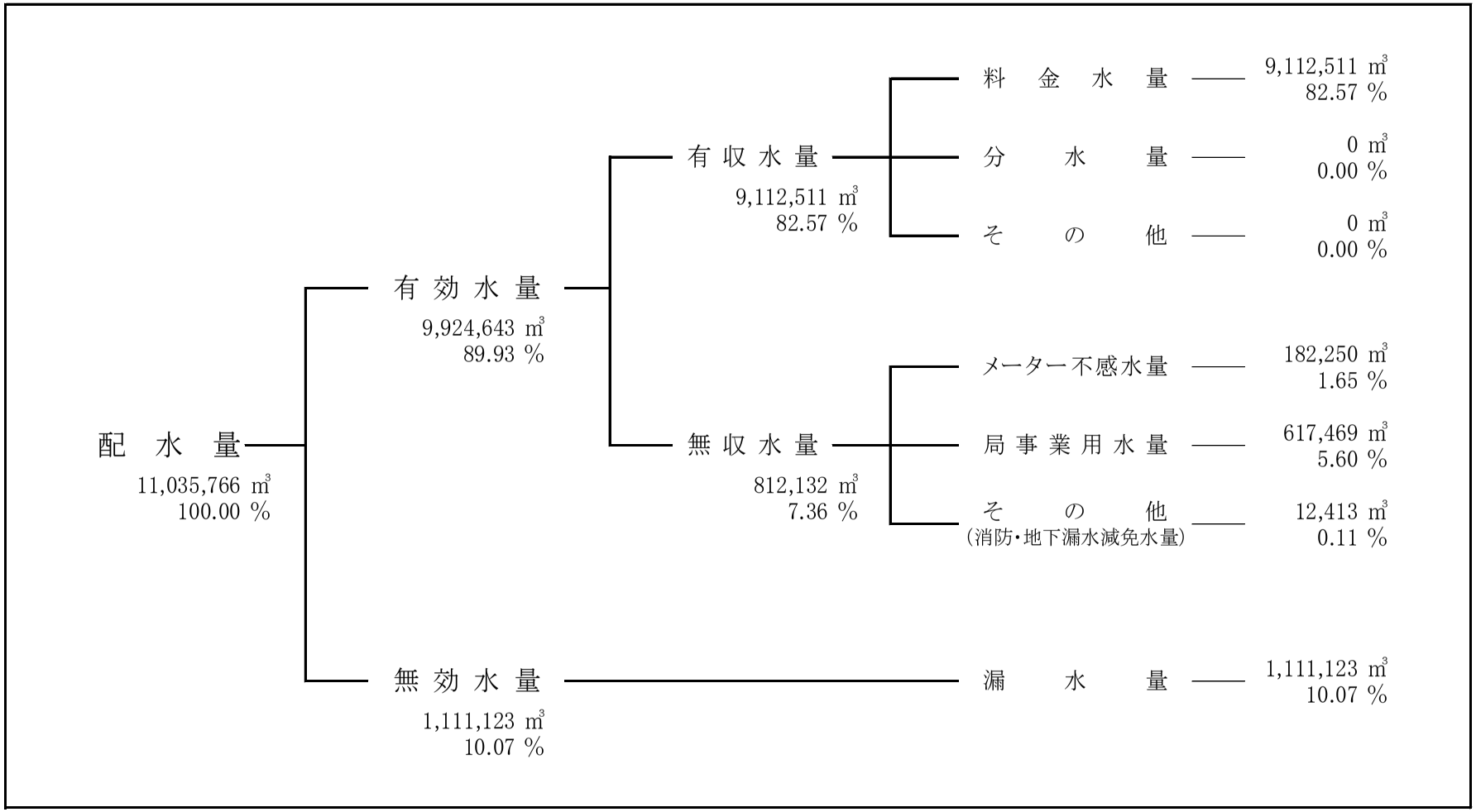
借方						貸方					
科目	金額	構成比率		すう勢比率		科目	金額	構成比率		すう勢比率	
		令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度			令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
	円	%	%	%	%		円	%	%	%	%
1 営業費用	1,964,105,820	92.58	91.80	101.29	97.50	1 営業収益	1,692,488,675	75.77	77.21	102.72	102.86
(1) 原水及び浄水費	436,383,545	20.57	18.49	112.79	98.39	(1) 給水収益	1,651,107,700	73.92	75.77	103.57	104.33
(2) 配水及び給水費	291,910,191	13.76	12.84	106.11	96.09	(2) 受託工事収益	12,137,171	0.54	0.17	45.85	13.82
(3) 受託工事費	21,948,364	1.03	0.25	63.21	14.95	(3) その他営業収益	29,243,804	1.31	1.27	108.40	103.26
(4) 総係費	143,919,726	6.78	6.98	103.97	103.80	2 営業外収益	534,974,485	23.95	22.79	90.15	84.30
(5) 減価償却費	1,068,556,406	50.37	53.14	97.23	99.57	(1) 受取利息及び配当金	1,633,151	0.07	0.03	363.03	145.26
(6) 資産減耗費	1,387,588	0.07	0.11	28.56	46.96	(2) 他会計補助金	173,212,273	7.75	5.83	79.98	59.09
(7) その他営業費用	－	－	－	－	－	(3) 長期前受金戻入	349,272,404	15.64	16.54	95.28	99.01
2 営業外費用	157,510,245	7.42	8.20	83.98	90.08	(4) 雑収益	10,856,657	0.49	0.39	122.22	97.45
(1) 支払利息	149,569,364	7.05	8.01	82.82	91.40	3 特別利益	6,119,996	0.27	－	－	－
(2) 雑支出	7,940,881	0.37	0.19	114.08	55.77	(1) 固定資産売却益	6,119,996	0.27	－	－	－
小計	2,121,616,065	100.00	100.00	99.77	96.84						
当年度純利益	111,967,091	－	－	97.82	118.38						
合計	2,233,583,156	－	－	99.67	97.94	合計	2,233,583,156	100.00	100.00	99.67	97.94

2　貸借対照表構成並びにすう勢比率表

（注）すう勢比率は、令和2年度を100%とする。

借方						貸方					
科目	金額	構成比率		すう勢比率		科目	金額	構成比率		すう勢比率	
		令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度			令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
	円	%	%	%	%		円	%	%	%	%
1　固定資産	22,218,878,024	94.77	93.04	99.78	98.35	1　固定負債	9,446,374,355	40.29	40.48	94.32	95.14
(1) 有形固定資産	21,967,222,904	93.70	92.99	98.72	98.36	(1) 企業債	9,321,484,949	39.76	39.95	94.25	95.08
(2) 無形固定資産	7,449,000	0.03	0.05	59.28	87.21	(2) 引当金	124,889,406	0.53	0.53	100.00	100.00
(3) 投資その他の資産	244,206,120	1.04	0.01	14,833.99	100.00	2　流動負債	1,038,378,115	4.43	5.39	76.99	94.11
2　流動資産	1,225,244,884	5.23	6.96	74.99	100.28	(1) 企業債	863,694,050	3.68	3.85	97.87	102.57
(1) 現金預金	878,807,361	3.75	5.54	65.60	97.33	(2) 未払金	133,459,797	0.57	1.39	37.96	92.80
(2) 未収金	310,325,088	1.32	0.99	121.26	90.73	(3) 前受金	237,100	0.00	0.00	56.18	36.16
貸倒引当金	△4,039,367	△0.02	△0.01	－	－	(4) 預り金	25,770,920	0.11	0.09	26.58	21.42
(3) 貯蔵品	39,432,072	0.17	0.16	101.69	99.24	(5) 引当金	14,496,518	0.06	0.06	103.65	93.49
(4) 前払金	－	－	0.27	－	－	(6) その他流動負債	719,730	0.00	0.02	22.50	118.69
(5) 前払費用	－	－	0.00	－	－	3　繰延収益	6,782,545,162	28.93	29.29	96.27	97.86
(6) その他流動資産	719,730	0.00	0.02	22.50	118.69	(1) 長期前受金	13,206,044,473	56.33	55.11	103.46	101.63
						(2) 長期前受金収益化累計額	△6,423,499,311	△27.40	△25.82	－	－
						4　資本金	4,188,402,590	17.87	16.69	114.10	107.04
						(1) 自己資本金	4,188,402,590	17.87	16.69	114.10	107.04
						5　剰余金	1,988,422,686	8.48	8.14	109.20	105.24
						(1) 資本剰余金	1,375,231,902	5.87	5.84	100.00	100.00
						(2) 利益剰余金	613,190,784	2.62	2.30	137.57	121.43
資産合計	23,444,122,908	100.00	100.00	98.09	98.48	負債資本合計	23,444,122,908	100.00	100.00	98.09	98.48

3　令和4年度配水量調べ



4　企業債の償還予定表

区分 年度	元金	利子	計
	円	円	円
令和5年度	863,694,050	140,809,383	1,004,503,433
令和6年度	873,610,854	124,820,178	998,431,032
令和7年度	838,916,230	109,407,469	948,323,699
令和8年度	781,650,390	95,344,735	876,995,125
令和9年度	688,013,725	82,824,405	770,838,130
令和10年度	637,823,265	72,038,889	709,862,154
令和11年度	581,973,425	62,149,025	644,122,450
令和12年度	496,587,204	53,443,253	550,030,457
令和13年度	422,862,056	46,408,095	469,270,151
令和14年度	363,625,486	40,601,432	404,226,918
令和15年度～令和34年度	3,636,422,314	227,375,649	3,863,797,963
合計	10,185,178,999	1,055,222,513	11,240,401,512

福知山市下水道事業会計

下 水 道 事 業

1 業務実績

令和4年度末の水洗化戸数は、前年度に比べ 533 戸(1.76%)増加し、3 万 747 戸となり、水洗化人口は、6 万 3,681 人で前年度に比べ 314 人(0.50%)増加している。

また、総人口 7 万 5,471 人に対する供用開始区域内人口は 6 万 4,465 人で、人口普及率は 85.42%となり前年度に比べ 0.99 ポイント増加しており、供用開始区域内における水洗化人口の普及状況をみると、水洗化率は 98.78%となっている。

総処理水量は、前年度に比べ 81 万 7,979 ㎥(4.36%)減少し、1,794 万 2,999 ㎥となっている。これは、予算に定められた年間処理水量 1,848 万 3,800 ㎥の 97.07%である。

一方、損益についてみると、汚水処理水量 1 ㎥当たりでは 7.26 円の利益となり、収支差引は 2 億 7,643 万 3,939 円の純利益となっている。

業務実績を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜業務実績の前年度比較＞

項　　目	令和４年度	令和３年度	増減	摘　　要
総　世　帯　数（世帯）	36,623	36,412	211	年度末現在
総　人　口（人）①	75,471	76,037	△566	〃
供用開始区域内人口（人）②	64,465	64,196	269	〃
供用開始区域内戸数（戸）	31,154	30,637	517	〃
水洗化人口（人）③	63,681	63,367	314	令和４年度予算に定めた処理人口 65,100人
水洗化戸数（戸）	30,747	30,214	533	令和４年度予算に定めた処理戸数 31,300戸
人口普及率（%）	85.42	84.43	0.99	②／① × 100
水洗化率（%）	98.78	98.71	0.07	③／② × 100
年間総処理水量（㎥）④	17,942,999	18,760,978	△817,979	令和４年度予算に定めた 年間処理水量　18,483,800㎥
年間有収水量（㎥）⑤	12,449,375	12,375,491	73,884	
有収水量率（%）	69.38	65.96	3.42	⑤／④ × 100
職　員　数（人）	34	34	0	年度末現在
汚水処理原価（円）	135.64	128.59	7.05	汚水処理費／年間有収水量
使用料単価（円）	142.90	142.89	0.01	使用料収入／年間有収水量
汚水処理水量１㎥当たりの損益（円）	7.26	14.30	△7.04	使用料単価－汚水処理原価

有収水量率は69.38%で、前年度と比べ3.42ポイント上回っている。

また、汚水処理水量1㎥当たりの使用料単価は0.01円増えて142.90円、汚水処理原価は7.05円増えて135.64円となっている。その結果、汚水処理水量1㎥当たりの損益としては7.26円の利益となり、前年度に比べ7.04円下回っている。

年間総処理水量に対する効率を年度別に比較すると、次のとおりである。

＜年間総処理水量等の年度別比較＞

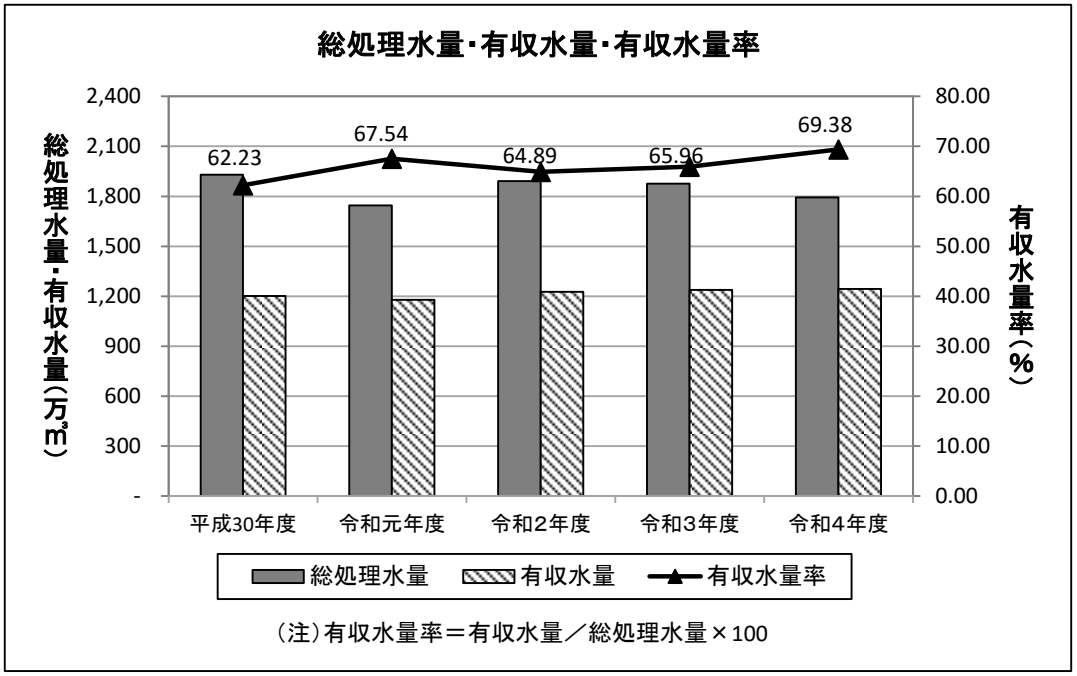
（単位：㎥・％）

区　　分	令和４年度	令和３年度	令和２年度	令和４年度対令和３年度	
				比較増減	増減率
年間総処理水量	17,942,999	18,760,978	18,918,112	△817,979	△4.36
年間有収水量	12,449,375	12,375,491	12,275,196	73,884	0.60
有収水量率	69.38	65.96	64.89	3.42	5.18

年間総処理水量は、前年度と比べ 81 万 7,979 ㎥（4.36％）減少している。

年間有収水量は 1,244 万 9,375 ㎥で、前年度より 7 万 3,884 ㎥（0.60％）増加し、年間総処理水量に対する割合（有収水量率）は 69.38％で、前年度より 3.42 ポイント上回っている。

最近 5 か年の年間総処理水量などの推移をグラフに示すと、次の図のとおりである。



年間総処理水量に対する年間有収水量の比率を示す有収水量率については、年間有収水量の増加に対し、年間総処理水量が減少したことにより、前年度と比較して上昇している。

2 予算執行状況について （消費税及び地方消費税を含む。）

（1） 収益的収支

事業収益について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

＜収益的収入＞

（単位：円・％）

科目	予算額	構成比率		決算額（うち仮受消費税及び地方消費税）	構成比率		予算額に対する決算割合	
		４年度	３年度		４年度	３年度	４年度	３年度
事業収益	3,972,428,000	100.00	100.00	3,902,842,357	100.00	100.00	98.25	101.66
営業収益	2,456,156,000	61.83	64.66	2,496,604,946 (181,763,730)	63.97	64.44	101.65	101.32
営業外収益	1,516,272,000	38.17	35.34	1,406,237,411 (50,626)	36.03	35.56	92.74	102.29

予算額に対する決算割合は 98.25％となり、前年度に比べ 3.41 ポイント下回っている。

事業費用について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

＜収益的支出＞

（単位：円・％）

科目	予算額（うち前年度予算繰越額）	構成比率		決算額（うち仮払消費税及び地方消費税）	構成比率		予算額に対する決算割合	
		４年度	３年度		４年度	３年度	４年度	３年度
事業費用	3,680,863,000	100.00	100.00	3,540,338,045	100.00	100.00	96.18	96.54
営業費用	3,426,748,743 (5,500,000)	93.10	91.89	3,290,623,788 (110,864,929)	92.95	92.40	96.03	97.07
営業外費用	249,714,257	6.78	7.98	249,714,257 (1,694,600)	7.05	7.60	100.00	91.96
予備費	4,400,000	0.12	0.13	0	－	－	－	－

予算額に対する決算割合は 96.18％で、前年度に比べ 0.36 ポイント下回っている。

（2） 資本的収支

資本的収支の予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

＜資本的収支＞

（単位：円・％）

科目		予算額（うち前年度予算繰越額）	構成比率 4年度	構成比率 3年度	決算額（うち仮受・仮払消費税及び地方消費税）	構成比率 4年度	構成比率 3年度	予算額に対する決算割合 4年度	予算額に対する決算割合 3年度
資本的収入		3,110,330,000 (765,874,000)	100.00	100.00	1,814,225,848	100.00	100.00	58.33	65.84
	企業債	1,762,000,000 (413,200,000)	56.65	57.92	957,600,000	52.78	56.51	54.35	64.24
	負担金	83,117,000	2.67	3.31	82,816,346	4.56	5.06	99.64	100.53
	補助金	1,211,374,000 (308,974,000)	38.95	37.15	686,694,600	37.85	37.66	56.69	66.74
	分担金及び負担金	2,139,000	0.07	0.08	8,555,870	0.47	0.31	399.99	250.58
	工事負担金	51,700,000 (43,700,000)	1.66	1.54	78,559,032 (555,000)	4.33	0.46	151.95	19.69
資本的支出		4,496,151,000 (798,992,000)	100.00	100.00	3,229,192,416	100.00	100.00	71.82	76.54
	建設改良費	3,243,202,000 (798,992,000)	72.13	69.06	1,976,245,522 (158,990,337)	61.20	59.58	60.94	66.03
	企業債償還金	1,252,949,000	27.87	30.94	1,252,946,894	38.80	40.42	100.00	100.00
収支不足額		△ 1,385,821,000	－	－	△ 1,414,966,568	－	－	102.10	99.26
補てん財源	損益勘定留保資金	895,167,000	64.59	69.51	949,139,685	67.08	67.29	106.03	96.09
	減債積立金	380,000,000	27.42	26.12	380,000,000	26.86	26.31	100.00	100.00
	消費税及び地方消費税資本的収支調整額	110,654,000	7.98	4.38	85,826,883	6.07	6.40	77.56	145.05
	計	1,385,821,000	100.00	100.00	1,414,966,568	100.00	100.00	102.10	99.26

決算額における資本的収入額は 18 億 1,422 万 5,848 円、資本的支出額は 32 億 2,919 万 2,416 円で、収支不足額 14 億 1,496 万 6,568 円は、補てん財源の損益勘定留保資金 9 億 4,913 万 9,685 円と減債積立金 3 億 8,000 万円、消費税及び地方消費税資本的収支調整額 8,582 万 6,883 円で補てんされている。

なお、資本的支出のうち建設改良費は、翌年度に予算繰越をしているため、予算額に対する決算割合が 60.94％と前年度に比べ 5.09 ポイント下回っている。

3 経営状況（損益収支）について （消費税及び地方消費税を除く。）

（1） 収益について

総収益は、37 億 1,569 万 4,983 円で、内訳は次のとおりである。

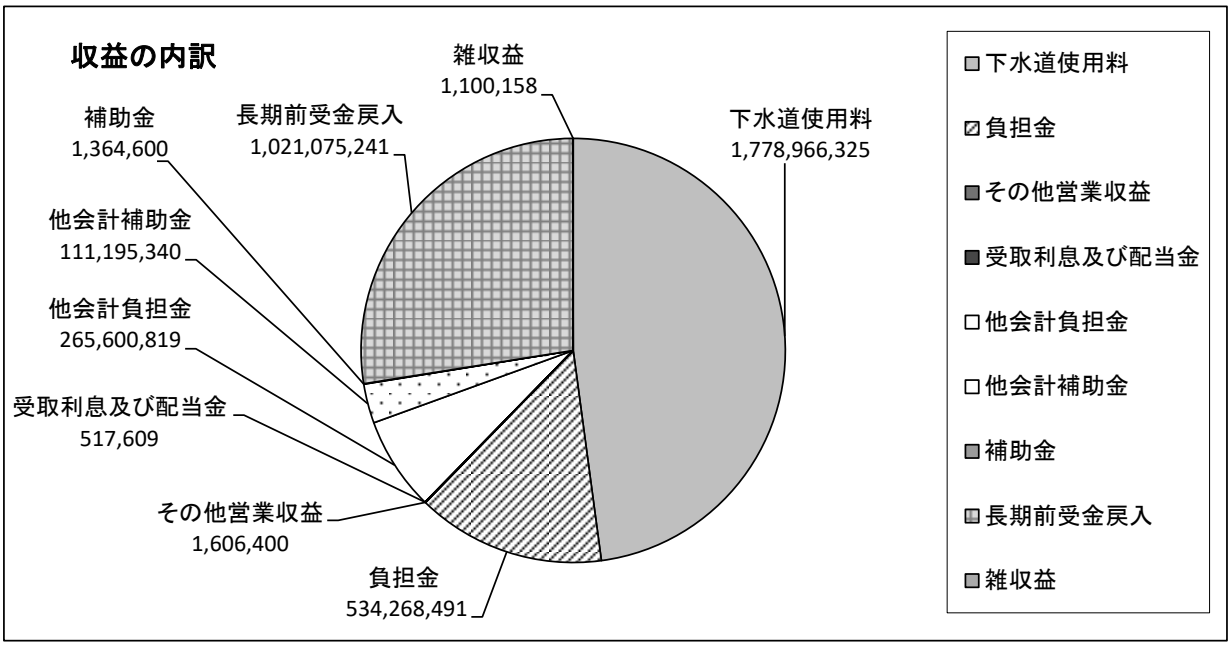
＜ 収　益 ＞

（単位：円・％）

科　目	令和４年度		令和３年度		令和２年度		令和４年度対令和３年度	
	金　額	構成比率	金　額	構成比率	金　額	構成比率	比較増減	増減率
営業収益	2,314,841,216	62.30	2,268,183,810	62.70	2,162,162,080	62.69	46,657,406	2.06
下水道使用料	1,778,966,325	47.88	1,768,275,943	48.88	1,753,746,759	50.85	10,690,382	0.60
負担金	534,268,491	14.38	498,352,067	13.78	406,580,600	11.79	35,916,424	7.21
その他営業収益	1,606,400	0.04	1,555,800	0.04	1,834,721	0.05	50,600	3.25
営業外収益	1,400,853,767	37.70	1,349,250,396	37.30	1,286,860,968	37.31	51,603,371	3.82
受取利息及び配当金	517,609	0.01	292,960	0.01	219,932	0.01	224,649	76.68
他会計負担金	265,600,819	7.15	297,032,484	8.21	280,977,299	8.15	△31,431,665	△10.58
他会計補助金	111,195,340	2.99	60,000,000	1.66	60,000,000	1.74	51,195,340	85.33
補助金	1,364,600	0.04	1,516,250	0.04	230,250	0.01	△151,650	△10.00
長期前受金戻入	1,021,075,241	27.48	983,454,377	27.19	944,306,424	27.38	37,620,864	3.83
雑収益	1,100,158	0.03	6,954,325	0.19	1,127,063	0.03	△5,854,167	△84.18
総収益	3,715,694,983	100.00	3,617,434,206	100.00	3,449,023,048	100.00	98,260,777	2.72

営業収益の 76.85％を占めている下水道使用料は、前年度と比較すると 1,069 万 382 円（0.60％）増加している。負担金は、市費で負担すべき費用として一般会計等より繰り入れられており、雨水処理分が 4 億 9,514 万 2,040 円、し尿投入分が 1,168 万 8,116 円、浄化槽汚泥処理分が 1,753 万 7,438 円、農業集落排水施設汚泥処理分が 990 万 897 円となっている。

営業外収益は、5,160 万 3,371 円（3.82％）増加している。その主な要因は、他会計補助金及び長期前受金戻入が前年度に比べて増加したためである。



（2）費用について

総費用は 34 億 3,926 万 1,044 円で、内訳は次のとおりである。

＜ 費　用 ＞

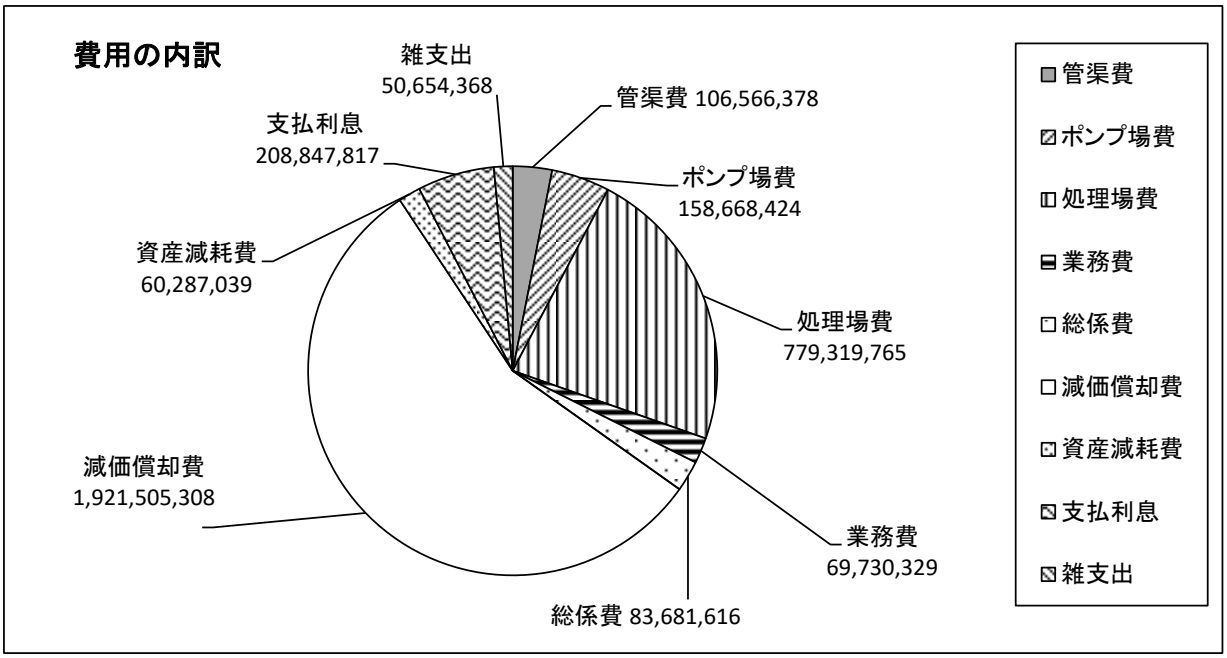
（単位：円・％）

科　目	令和４年度		令和３年度		令和２年度		令和４年度対令和３年度	
	金　額	構成比率	金　額	構成比率	金　額	構成比率	比較増減	増減率
営業費用	3,179,758,859	92.45	3,013,034,736	92.18	2,873,300,566	91.29	166,724,123	5.53
管渠費	106,566,378	3.10	119,773,254	3.66	131,888,934	4.19	△ 13,206,876	△ 11.03
ポンプ場費	158,668,424	4.61	148,597,529	4.55	148,205,634	4.71	10,070,895	6.78
処理場費	779,319,765	22.66	681,977,289	20.86	617,889,472	19.63	97,342,476	14.27
業務費	69,730,329	2.03	68,278,965	2.09	70,647,187	2.24	1,451,364	2.13
総係費	83,681,616	2.43	83,853,799	2.57	79,557,298	2.53	△ 172,183	△ 0.21
減価償却費	1,921,505,308	55.87	1,897,456,731	58.05	1,819,141,156	57.80	24,048,577	1.27
資産減耗費	60,287,039	1.75	13,097,169	0.40	5,823,964	0.19	47,189,870	360.31
その他営業費用	－	－	－	－	146,921	0.00	－	－
営業外費用	259,502,185	7.55	255,620,802	7.82	274,142,749	8.71	3,881,383	1.52
支払利息	208,847,817	6.07	227,383,417	6.96	247,819,497	7.87	△ 18,535,600	△ 8.15
雑支出	50,654,368	1.47	28,237,385	0.86	26,323,252	0.84	22,416,983	79.39
総費用	3,439,261,044	100.00	3,268,655,538	100.00	3,147,443,315	100.00	170,605,506	5.22

営業費用は、前年度に比べ 1 億 6,672 万 4,123 円（5.53％）増加し、31 億 7,975 万 8,859 円となっている。増加の要因としては、管渠費や総係費が減少したものの、処理場費や資産減耗費などの増加が大きかったことによるものである。主な営業費用は、減価償却費の 19 億 2,150 万 5,308 円、処理場費の 7 億 7,931 万 9,765 円で、営業費用全体の 84.94％を占めている。

営業外費用は、対前年度比較で 388 万 1,383 円（1.52％）増加し、2 億 5,950 万 2,185 円となっている。これは主に、雑支出が 2,241 万 6,983 円（79.39％）増加したことによるものである。

総費用全体では、1 億 7,060 万 5,506 円（5.22％）の増加となっている。



費用を性質別に分類して、前年度と比較すると、次のとおりである。

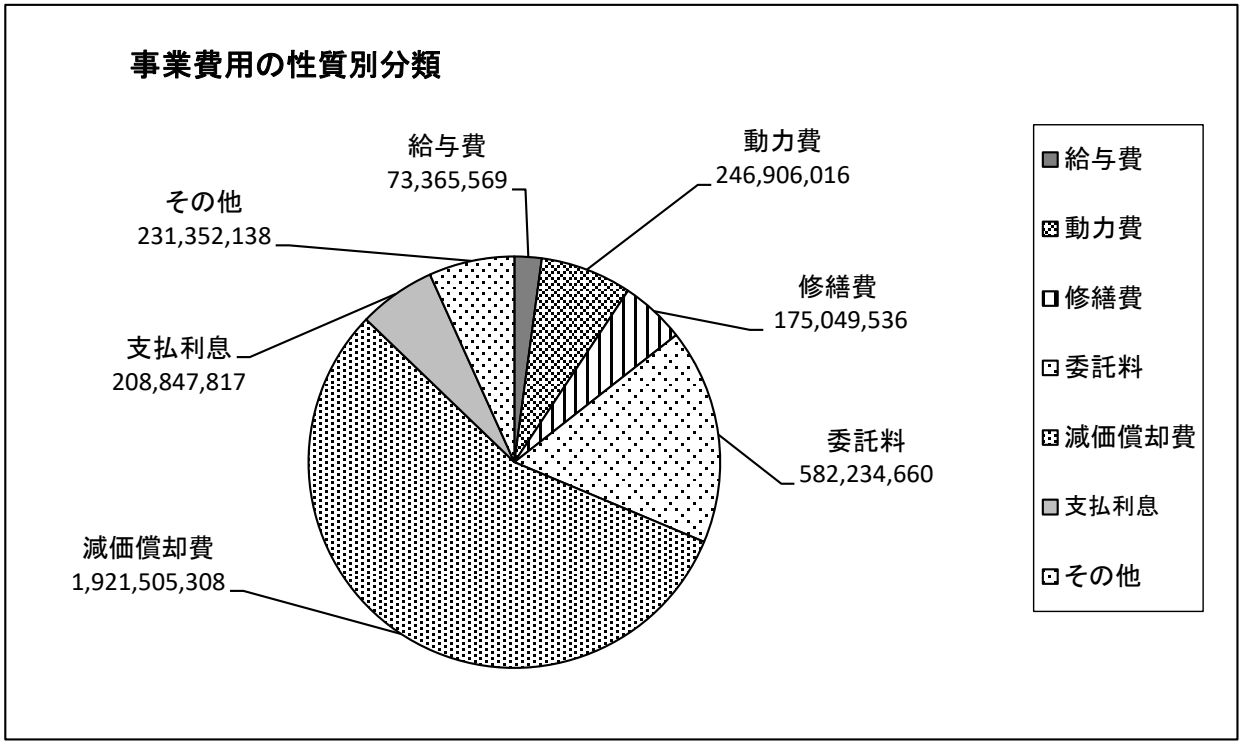
＜性質別に分類した事業費用の年度別比較＞

（単位：円・％）

性質別分類	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和4年度対令和3年度	
	金　額	構成比率	金　額	構成比率	金　額	構成比率	比較増減	増減率
給　与　費	73,365,569	2.13	64,590,259	1.98	66,640,224	2.12	8,775,310	13.59
動　力　費	246,906,016	7.18	180,951,657	5.54	169,479,620	5.38	65,954,359	36.45
修　繕　費	175,049,536	5.09	154,011,889	4.71	147,090,719	4.67	21,037,647	13.66
委　託　料	582,234,660	16.93	592,182,013	18.12	515,336,934	16.37	△ 9,947,353	△ 1.68
減価償却費	1,921,505,308	55.87	1,897,456,731	58.05	1,819,141,156	57.80	24,048,577	1.27
支　払　利　息	208,847,817	6.07	227,383,417	6.96	247,819,497	7.87	△ 18,535,600	△ 8.15
(うち企業債利息)	(208,771,599)	(6.07)	(227,255,891)	(6.95)	(247,297,307)	(7.86)	(△18,484,292)	(△8.13)
そ　の　他	231,352,138	6.73	152,079,572	4.65	181,935,165	5.78	79,272,566	52.13
合　　計	3,439,261,044	100.00	3,268,655,538	100.00	3,147,443,315	100.00	170,605,506	5.22

(注)給与費は、給料、手当等、報酬、法定福利費、賞与引当金繰入額である。

前年度に比べ増加したものは、動力費、減価償却費、修繕費、給与費及びその他である。減少したものは、支払利息(企業債利息)及び委託料である。



4 財政状況（貸借対照表）について

（1） 資 産

固定資産・流動資産を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜資産の前年度比較＞

（単位：円）

区分		令和４年度	令和３年度	増減
固定資産		45,837,285,836	45,425,105,361	412,180,475
	有形固定資産	45,786,842,184	45,423,151,413	363,690,771
	無形固定資産	270,816	291,408	△20,592
	投資その他の資産	50,172,836	1,662,540	48,510,296
流動資産		1,172,439,161	1,146,554,794	25,884,367
	現金預金	1,005,489,000	967,241,408	38,247,592
	未収金	159,303,592	169,919,789	△10,616,197
	貸倒引当金	△3,573,396	△2,097,485	△1,475,911
	貯蔵品	10,219,965	10,160,422	59,543
	前払費用	－	10,780	△10,780
	前払金	1,000,000	1,000,000	0
	その他流動資産	－	319,880	△319,880
資産合計		47,009,724,997	46,571,660,155	438,064,842

資産は、前年度に比べ４億3,806万4,842円増加している。

固定資産は、前年度に比べ４億1,218万475円（0.91％）増加している。その主な要因は、旧下豊西部地区農業集落排水施設統合に伴う引継分や汚泥処理施設再構築事業などに係る建設仮勘定の増などにより、有形固定資産が３億6,369万771円増加したことによるものである。また、流動資産は、前年度に比べ2,588万4,367円（2.26％）増加しており、その主な要因は、現金預金が増えたことによるものである。

貯蔵品のたな卸については、現品過不足なく正確に処理されている。

有形固定資産の増減状況は、次のとおりである。

＜有形固定資産の増減状況＞

（単位：円）

項　目	増加したもの		減少したもの		増　減
	金　額	説　明	金　額	説　明	
建　　物	199,460,705	施設用建物 145,261,875 建物付属設備 54,198,830	481,723	建物付属設備 481,723	198,978,982
構　築　物	647,874,597	排水施設 601,063,597 同（受贈財産） 46,811,000	56,954,418	排水施設 34,944,170 処理場施設 22,010,248	590,920,179
機械及び装置	435,965,290	電気設備 73,914,545 同（受贈財産） 3,940,000 内燃設備 49,526,265 ポンプ設備 74,184,422 同（受贈財産） 6,627,000 その他機械装置 227,773,058	70,337,073	電気設備 4,043,218 内燃設備 10,180,818 ポンプ設備 16,656,210 その他機械装置 39,456,827	365,628,217
車輌及び運搬具	80,300	車輌運搬具 80,300	－	－	80,300
工具、器具及び備品	6,710,650	工具、器具及び備品 6,710,650	273,918	工具、器具及び備品 273,918	6,436,732
建設仮勘定	1,772,061,157	未供用資産 1,772,061,157	1,235,952,514	供用開始による振替 1,235,952,514	536,108,643
計	3,062,152,699	－	1,363,999,646	－	1,698,153,053

有形固定資産の差引増加額は、16 億 9,815 万 3,053 円である。

年度末における有形固定資産の現在高は 672 億 6,610 万 184 円で減価償却累計額 214 億 7,925 万 8,000 円を控除すると当年度末の償却未済額は 457 億 8,684 万 2,184 円である。

消滅時効により不納欠損処分されたものは、次のとおりである。

＜不納欠損処分の内訳＞

債　権　名	人数(人)	件数(件)	金額(円)	理由別内訳			
下水道使用料	123	449	739,329	生活困窮	8人	42件	43,689円
				破 産 等	4人	12件	13,340円
				無 財 産	111人	395件	682,300円
計	123	449	739,329				

当年度の時効による不納欠損は、前年度に比べ 50 人、87 件、金額は 35 万 5,742 円減少している。

(2) 負 債

固定負債を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜固定負債の前年度比較＞

(単位:円)

科　　目	令和４年度	令和３年度	増　　減
企　　業　　債	15,945,293,084	16,285,976,340	△340,683,256
計	15,945,293,084	16,285,976,340	△340,683,256

固定負債は企業債のみであり、前年度に比べ 3 億 4,068 万 3,256 円(2.09%)減少し、159 億 4,529 万 3,084 円となっている。

これは、主に新規の企業債借入れが 9 億 5,760 万円に対して、翌年度の償還額 12 億 9,038 万 3,256 円が流動負債に振り替えられたことによるものである。

流動負債を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜流動負債の前年度比較＞

（単位：円）

科　　目	令和４年度	令和３年度	増　　減
企　　業　　債	1,290,383,256	1,240,646,894	49,736,362
未　　払　　金	847,348,791	727,451,094	119,897,697
預　　り　　金	70,284	1,996,747	△1,926,463
引　　当　　金	18,512,941	16,449,487	2,063,454
その他流動負債	－	319,880	△319,880
計	2,156,315,272	1,986,864,102	169,451,170

流動負債は、前年度に比べ１億6,945万1,170円（8.53％）増加し、21億5,631万5,272円となっている。これは主に、企業債が4,973万6,362円（4.01％）、未払金が１億1,989万7,697円（16.48％）増加したことによるものである。

繰延収益を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜繰延収益の前年度比較＞

（単位：円）

科　　目	令和４年度	令和３年度	増　　減
長　期　前　受　金	33,299,563,845	32,225,657,479	1,073,906,366
長期前受金収益化累計額	△10,931,201,085	△9,989,390,928	△941,810,157
計	22,368,362,760	22,236,266,551	132,096,209

繰延収益は、前年度に比べ１億3,209万6,209円（0.59％）増加し、223億6,836万2,760円となっている。長期前受金は前年度に比べ10億7,390万6,366円（3.33％）増加しており、その主な要因は、国府補助金長期前受金が増加したことによるものである。長期前受金収益化累計額は、前年度に比べ９億4,181万157円（9.43％）減少している。

（3） 資本金

資本金を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜資本金の前年度比較＞

（単位：円）

科　　目	令和４年度	令和３年度	増　　減
資　本　金	5,444,113,847	4,934,974,009	509,139,838
自己資本金	5,444,113,847	4,934,974,009	509,139,838
固有資本金	5,094,113,847	4,904,974,009	189,139,838
組入資本金	350,000,000	30,000,000	320,000,000

資本金は、前年度に比べ 5 億 913 万 9,838 円（10.32％）増加し、54 億 4,411 万 3,847 円となっている。これは、旧下豊西部地区農業集落排水施設統合に伴う引継ぎにより固有資本金が 1 億 8,913 万 9,838 円（3.86％）増加し、組入資本金については、未処分利益剰余金からの組み入れにより 3 億 2,000 万円（1,066.67％）増加したことによるものである。

（4） 剰余金

剰余金の内訳は、次のとおりである。

＜剰余金の前年度比較＞

（単位：円）

科　　目	令和４年度	令和３年度	増　　減
剰　余　金	1,095,640,034	1,127,579,153	△31,939,119
資本剰余金	83,789,644	72,162,702	11,626,942
受贈財産評価額	3,199,740	3,199,740	0
国府補助金	77,606,388	68,266,388	9,340,000
その他資本剰余金	2,983,516	696,574	2,286,942
利益剰余金	1,011,850,390	1,055,416,451	△43,566,061
減債積立金	355,416,451	386,637,783	△31,221,332
当年度未処分利益剰余金	656,433,939	668,778,668	△12,344,729

剰余金は、前年度に比べ 3,193 万 9,119 円（2.83％）減少し、10 億 9,564 万 34 円となっている。これは、資本剰余金が 1,162 万 6,942 円（16.11％）増加し、利益剰余金は 4,356 万 6,061 円（4.13％）減少したことによるものである。

5 キャッシュ・フローについて

＜キャッシュ・フローの状況＞

（単位：円）

区　　分	金　　額
A　資金期首残高	967,241,408
①　業務活動によるキャッシュ・フロー	1,341,458,816
②　投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,085,051,369
③　財務活動によるキャッシュ・フロー	△218,159,855
B　資金増減額　（①＋②＋③）	38,247,592
C　資金期末残高　（A＋B）	1,005,489,000

キャッシュ・フロー計算書の資金期末残高は、貸借対照表における流動資産の現金預金の額と一致している。

6 む す び

令和4年度の下水道事業会計は、総収益が 37 億 1,569 万 4,983 円、総費用は 34 億 3,926 万 1,044 円で、平成 28 年度以降7年連続の黒字決算となり、2 億 7,643 万 3,939 円の当年度純利益を計上した。

業務実績をみると、供用開始区域内人口は 6 万 4,465 人となり、前年度に比べ 269 人(0.42%)増加している。同区域内の水洗化人口は、314 人(0.50%)増の 6 万 3,681 人となり、水洗化率は前年度比 0.07 ポイント増の 98.78%となっている。年間総処理水量は 1,794 万 2,999 ㎥で、前年度に比べ 81 万 7,979 ㎥(4.36%)減少し、年間有収水量は 1,244 万 9,375 ㎥で前年度と比較し 7 万 3,884 ㎥(0.60%)増加している。

施設整備関係においては、農業集落排水施設の公共下水道への統合に向けた管路布設工事のほか、福知山終末処理場設備の更新工事、福知山処理区マンホール鉄蓋更新工事など老朽化した設備の更新工事を行っている。

経営状況については、前年度と比較し、総収益は 9,826 万 777 円(2.72%)増加し、総費用も 1 億 7,060 万 5,506 円(5.22%)増加している。収益増の主な要因は、営業収益では下水道使用料の増に加え、雨水処理負担金が前年度に比べ 3,046 万 2,808 円(6.56%)増加し、営業外収益では他会計補助金及び長期前受金戻入が増加したことによるものである。

一方、費用増の主な要因は、処理場費、資産減耗費及び減価償却費などが増加したことによるものである。

汚水処理水量 1 ㎥当たりの収支でみると、使用料単価は 142.90 円で前年度に比較し 0.01 円増加し、汚水処理原価は 135.64 円で前年度に比べ 7.05 円増加している。1 ㎥当りの利益は昨年度より 7.04 円減少したものの、5年連続で使用料単価が汚水処理原価を上回り、1 ㎥当り 7.26 円の利益を生んでいる。

消滅時効に伴う下水道使用料の不納欠損処分は、123 人、449 件、73 万 9,329 円で、前年度に比べ 50 人、87 件、金額では 35 万 5,742 円の減少となっている。不納欠損の理由は、生活困窮、破産等、無財産によるものであり法令に基づいた不納欠損処分が行われているが、今後とも負担の公平性を確保するため、債権管理の適正を期するとともに、新たな滞納者を発生させない早期徴収体制の強化を講じるなど、収入の確保に努めることが必要である。

次に経営分析から見た経営の状況は以下のとおりである。

① 流動比率については、一年間の支払い能力を示し安全性を判断する指標であり、100%以上であることが必要であるとされている。本年度は、前年度に比べ 3.34 ポイント低下し 54.37%となっている。

② 固定資産回転率については、固定資産がどの程度経営活動に有効活用されたかを判断する指標として高いほど良いとされている。本年度は、前年度に比べ 0.001 回向上し 0.051 回となっている。

③ 固定長期適合率は、固定資産が資本の範囲内で調達されているかを示すもので、100％以下が健全とされている。本年度は、前年度に比べ 0.31 ポイント低下し 102.19％となっている。

④ 経費回収率は、汚水処理に係る費用が使用料でどの程度賄われているかを示すものであり、100％以上が求められている。下水道経営は、経費の負担区分を踏まえ汚水処理に係る費用については使用料で賄うことが基本原則とされている。本年度は、5.77 ポイント低下し 105.35％となっている。

（参考資料）

① 流動比率 ＝ 流動資産 ／ 流動負債 × 100

令和４年度	令和３年度
54.37%	57.71%

② 固定資産回転率 ＝ 営業収益－受託工事収益 ／ （期末固定資産＋期首固定資産）÷２

令和４年度	令和３年度
0.051回	0.050回

③ 固定長期適合率 ＝ 固定資産 ／ 自己資本＋固定負債＋繰延収益 × 100
（自己資本＝自己資本金＋剰余金）

令和４年度	令和３年度
102.19%	101.88%

④ 経費回収率（維持管理費） ＝ 使用料収入 ／ 汚水処理費 × 100

令和４年度	令和３年度
105.35%	111.12%

当年度の下水道事業は、管渠、ポンプ場、処理場など施設の適正な維持管理や浸水対策、地震対策及び老朽化した施設の更新事業が計画的に実施されている。

経営状況については、料金改定による収入確保や経費削減などの経営努力により、健全な経営が維持されているものと認められる。

しかしながら、今後、人口減少に伴う下水道使用料の減少や管渠・ポンプ施設などの老朽化による施設の更新経費、また耐震化をはじめ防災・減災を目的とした施設整備に係る費用の増加が見込まれるなど、厳しい経営環境となることが想定される。

このような中で、令和5年度からは農業集落排水施設事業が下水道事業に組み入れられ、下水道事業会計は、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水施設事業により構成されることとなった。それぞれの現状と今後の情勢を的確に見据えつつ、福知山市下水道ビジョンに基づき、ストックマネジメントの推進による計画的で着実な施設更新と維持管理を行うとともに、引き続き収入確保や費用抑制の取り組みを推進し、安心・安全を未来へつなぐ下水道をめざして、さらなる

経営基盤の強化に努められたい。

最後に、下水道は市民に衛生的で安心・安全かつ快適な暮らしを届けるために欠かすことのできない重要な基幹的インフラである。今後とも、安心・安全な下水道サービスが将来にわたって安定的に提供されるとともに、災害に強い下水道の基盤整備が一層進むことを望むものである。

1　損益計算書構成並びにすう勢比率表

（注）すう勢比率は、令和2年度を100%とする。

借方						貸方					
科目	金額	構成比率		すう勢比率		科目	金額	構成比率		すう勢比率	
		令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度			令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
	円	%	%	%	%		円	%	%	%	%
1 営業費用	3,179,758,859	92.45	92.18	110.67	104.86	1 営業収益	2,314,841,216	62.30	62.70	107.06	104.90
(1) 管渠費	106,566,378	3.10	3.66	80.80	90.81	(1) 下水道使用料	1,778,966,325	47.88	48.88	101.44	100.83
(2) ポンプ場費	158,668,424	4.61	4.55	107.06	100.26	(2) 負担金	534,268,491	14.38	13.78	131.41	122.57
(3) 処理場費	779,319,765	22.66	20.86	126.13	110.37	(3) その他営業収益	1,606,400	0.04	0.04	87.56	84.80
(4) 業務費	69,730,329	2.03	2.09	98.70	96.65	2 営業外収益	1,400,853,767	37.70	37.30	108.86	104.85
(5) 総係費	83,681,616	2.43	2.57	105.18	105.40	(1) 受取利息及び配当金	517,609	0.01	0.01	235.35	133.20
(6) 減価償却費	1,921,505,308	55.87	58.05	105.63	104.31	(2) 他会計負担金	265,600,819	7.15	8.21	94.53	105.71
(7) 資産減耗費	60,287,039	1.75	0.40	1,035.15	224.88	(3) 他会計補助金	111,195,340	2.99	1.66	185.33	100.00
その他営業費用	－	－	－	－	－	(4) 補助金	1,364,600	0.04	0.04	592.66	658.52
2 営業外費用	259,502,185	7.55	7.82	94.66	93.24	(5) 長期前受金戻入	1,021,075,241	27.48	27.19	108.13	104.15
(1) 支払利息	208,847,817	6.07	6.96	84.27	91.75	(6) 雑収益	1,100,158	0.03	0.19	97.61	617.03
(2) 雑支出	50,654,368	1.47	0.86	192.43	107.27						
小計	3,439,261,044	100.00	100.00	109.27	103.85						
当年度純利益	276,433,939	－	－	91.66	115.65						
合計	3,715,694,983	－	－	107.73	104.88	合計	3,715,694,983	100.00	100.00	107.73	104.88

2　貸借対照表構成並びにすう勢比率表

（注）すう勢比率は、令和2年度を100%とする。

借方						貸方					
科目	金額	構成比率		すう勢比率		科目	金額	構成比率		すう勢比率	
		令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度			令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
	円	%	%	%	%		円	%	%	%	%
1　固定資産	45,837,285,836	97.51	97.54	100.26	99.36	1　固定負債	15,945,293,084	33.92	34.97	96.29	98.35
(1) 有形固定資産	45,786,842,184	97.40	97.53	100.15	99.36	(1) 企業債	15,945,293,084	33.92	34.97	96.29	98.35
(2) 無形固定資産	270,816	0.00	0.00	86.80	93.40	2　流動負債	2,156,315,272	4.59	4.27	103.78	95.63
(3) 投資その他の資産	50,172,836	0.11	0.00	3,035.76	100.59	(1) 企業債	1,290,383,256	2.74	2.66	109.03	104.82
2　流動資産	1,172,439,161	2.49	2.46	101.35	99.12	(2) 未払金	847,348,791	1.80	1.56	96.92	83.21
(1) 現金預金	1,005,489,000	2.14	2.08	107.94	103.83	(3) 預り金	70,284	0.00	0.00	7.38	209.58
(2) 未収金	159,303,592	0.34	0.36	73.44	78.34	(4) 引当金	18,512,941	0.04	0.04	98.34	87.38
貸倒引当金	△ 3,573,396	△ 0.01	0.00	－	－	(5) その他流動負債	－	－	0.00	－	311.02
(3) 貯蔵品	10,219,965	0.02	0.02	97.16	96.60	3　繰延収益	22,368,362,760	47.58	47.75	99.30	98.71
(4) 前払費用	－	－	0.00	－	－	(1) 長期前受金	33,299,563,845	70.84	69.20	105.38	101.98
(5) 前払金	1,000,000	0.00	0.00	100.00	100.00	(2) 長期前受金収益化累計額	△10,931,201,085	△23.25	△21.45	－	－
(6) その他流動資産	－	－	0.00	0.00	311.02	4　資本金	5,444,113,847	11.58	10.60	110.99	100.61
						(1) 自己資本金	5,444,113,847	11.58	10.60	110.99	100.61
						5　剰余金	1,095,640,034	2.33	2.42	135.50	139.45
						(1) 資本剰余金	83,789,644	0.18	0.15	116.43	100.28
						(2) 利益剰余金	1,011,850,390	2.15	2.27	137.36	143.27
資産合計	47,009,724,997	100.00	100.00	100.28	99.35	負債資本合計	47,009,724,997	100.00	100.00	100.28	99.35

3　企業債の償還予定表

区分 年度	元金	利子	計
	円	円	円
令和5年度	1,290,383,256	196,290,074	1,486,673,330
令和6年度	1,300,528,318	174,115,795	1,474,644,113
令和7年度	1,263,471,575	153,682,198	1,417,153,773
令和8年度	1,165,183,582	135,522,952	1,300,706,534
令和9年度	1,084,100,495	119,344,034	1,203,444,529
令和10年度	990,252,996	105,064,978	1,095,317,974
令和11年度	891,633,216	92,618,763	984,251,979
令和12年度	771,283,457	81,833,785	853,117,242
令和13年度	712,306,786	72,877,527	785,184,313
令和14年度	661,182,549	64,933,734	726,116,283
令和15年度～令和34年度	7,105,350,110	386,710,824	7,492,060,934
合計	17,235,676,340	1,582,994,664	18,818,671,004

福 知 山 市 病 院 事 業 会 計

病　院　事　業

1　業務実績

令和4年度の市立福知山市民病院の年間延入院患者数は、11 万 2,542 人で前年度に比べ 292 人（0.26％）減少し、予算に定められた業務の予定量（以下「予定量」という。）における年間延入院患者数 11 万 3,150 人を 608 人下回っている。また、1 日の平均入院患者数については、308.33 人で前年度に比べ 0.80 人減少し、予定量 310.0 人に対して 1.67 人下回っている。大江分院の年間延入院患者数は、1 万 6,761 人で前年度に比べ 3,032 人（15.32％）減少し、予定量 1 万 7,885 人に対しても 1,124 人下回っている。また、1 日の平均入院患者数については、45.92 人で前年度に比べ 8.31 人減少し、予定量 49.0 人に対しても 3.08 人下回っている。

市民病院の年間延外来患者数は、24 万 391 人で前年度に比べ 4,001 人（1.69％）増加し、予定量 23 万 9,355 人に対しても 1,036 人上回っている。また、1 日の平均外来患者数は、989.26 人で前年度に比べ 12.44 人増加し、予定量 985.0 人に対しても 4.26 人上回っている。大江分院の年間延外来患者数は、1 万 4,718 人で前年度に比べ 425 人（2.97％）増加し、予定量 1 万 3,365 人に対しては 1,353 人上回り、1 日平均外来患者数は、60.57 人で予定量 55.0 人に対し 5.57 人上回っている。

患者 1 人 1 日当たりの診療収益は、入院で市民病院が 7 万 4,813.21 円、大江分院が 2 万 5,157.96 円、外来で市民病院が 2 万 1,520.86 円、大江分院が 8,416.46 円、入院と外来を合わせた全体では、市民病院が 3 万 9,076.67 円、大江分院が 1 万 7,348.63 円となっている。また、患者 1 人 1 日当たりの医業収益は、市民病院が 4 万 99.79 円、大江分院が 1 万 7,910.41 円であり、その一方で 1 人 1 日当たりの医業費用は、市民病院が 4 万 433.52 円、大江分院が 1 万 9,402.09 円となっており、その損益は、市民病院が 333.73 円の損失、大江分院が 1,491.68 円の損失となっている。

令和4年度の業務実績を前年度と比較すると次のとおりである。

〈業務実績の前年度比較〉

項目				令和4年度	令和3年度	増減	摘要
総世帯数（世帯）				36,623	36,412	211	年度末現在
総人口（人）				75,471	76,037	△566	〃
病床数（床）			市民病院	354	354	0	一般344　結核6　感染症4
			大江分院	52	68	△16	病床機能変更　療養28　地域包括ケア24 （令和3年度　一般40　療養28）
年間延病床数（床）			市民病院	129,210	129,210	0	354床×365日
			大江分院	18,980	24,820	△5,840	52床×365日
患者数	入院	年間（人）	市民病院	112,542	112,834	△292	令和4年度予算に定めた業務予定量 113,150人
			大江分院	16,761	19,793	△3,032	〃 17,885人
		1日平均（人）	市民病院	308.33	309.13	△0.80	〃 310.0人
			大江分院	45.92	54.23	△8.31	〃 49.0人
	外来	年間（人）（うち人間ドック等）	市民病院	240,391 (11,301)	236,390 (11,616)	4,001 (△315)	〃 239,355人 診療日数 243日
			大江分院	14,718 (64)	14,293 (50)	425 (14)	〃 13,365人 診療日数 243日
		1日平均（人）	市民病院	989.26	976.82	12.44	〃 985.0人
			大江分院	60.57	59.06	1.51	〃 55.0人
	計	年計（人）	市民病院	352,933	349,224	3,709	
			大江分院	31,479	34,086	△2,607	
病床利用率（%）			市民病院	87.10	87.33	△0.23	年間延入院患者数／年間延病床数×100
			大江分院	88.31	79.75	8.56	
職員数（人）			市民病院	774	787	△13	年度末現在
			大江分院	66	70	△4	
患者1人1日当たり診療収益	入院（円）		市民病院	74,813.21	69,142.53	5,670.68	入院収益／年間延入院患者数
			大江分院	25,157.96	21,358.67	3,799.29	
	外来（円）		市民病院	21,520.86	20,740.27	780.59	外来収益／年間延外来患者数（注）
			大江分院	8,416.46	8,713.25	△296.79	
	入院・外来（円）		市民病院	39,076.67	36,917.09	2,159.58	入院外来収益／年間延入院外来患者数（注）
			大江分院	17,348.63	16,066.96	1,281.67	
患者1人1日当たり医業収益（円）			市民病院	40,099.79	37,980.70	2,119.09	医業収益／年間延入院外来患者数
			大江分院	17,910.41	16,698.91	1,211.50	
患者1人1日当たり医業費用（円）			市民病院	40,433.52	38,640.36	1,793.16	医業費用／年間延入院外来患者数
			大江分院	19,402.09	19,864.33	△462.24	

（注）患者１人１日当たり診療収益における年間延外来患者数は人間ドック等検診者を除く。

（1）患者数の状況

① 入院患者数の状況

〈診療科別入院患者数の年度別比較〉

〔市民病院〕 （単位：人・％）

診療科	令和4年度（診療日数365日）			令和3年度（診療日数365日）			令和2年度（診療日数365日）		
	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率
内科	7,211	19.76	6.41	7,398	20.27	6.56	7,538	20.65	6.70
呼吸器内科	4,350	11.92	3.87	5,010	13.73	4.44	3,404	9.33	3.02
消化器内科	9,458	25.91	8.40	10,164	27.85	9.01	10,491	28.74	9.32
循環器内科	7,136	19.55	6.34	7,803	21.38	6.92	7,724	21.16	6.86
血液内科	12,583	34.47	11.18	11,987	32.84	10.62	11,676	31.99	10.37
腫瘍内科	7,992	21.90	7.10	9,113	24.97	8.08	10,957	30.02	9.73
腎臓内科	771	2.11	0.69	1,090	2.99	0.97	1,531	4.19	1.36
糖尿病内科	752	2.06	0.67	1,088	2.98	0.96	559	1.53	0.50
小児科	2,677	7.33	2.38	2,690	7.37	2.38	2,626	7.19	2.33
外科	6,829	18.71	6.07	6,467	17.72	5.73	6,915	18.95	6.14
整形外科	16,939	46.41	15.05	13,831	37.89	12.26	14,493	39.71	12.87
形成外科	374	1.02	0.33	389	1.07	0.34	784	2.15	0.70
脳神経外科	6,649	18.22	5.91	6,490	17.78	5.75	6,642	18.20	5.90
小児外科	35	0.10	0.03	94	0.26	0.08	94	0.26	0.08
皮膚科	848	2.32	0.75	1,823	4.99	1.62	1,185	3.25	1.05
泌尿器科	3,817	10.46	3.39	3,283	8.99	2.91	2,946	8.07	2.62
産婦人科	4,162	11.40	3.70	4,756	13.03	4.22	3,938	10.79	3.50
眼科	1,133	3.10	1.01	756	2.07	0.67	734	2.01	0.65
耳鼻いんこう科	2,466	6.76	2.19	1,909	5.23	1.69	2,558	7.01	2.27
放射線科	17	0.05	0.02	41	0.11	0.04	32	0.09	0.03
リハビリテーション科	15,034	41.19	13.36	15,810	43.32	14.01	15,302	41.92	13.59
救急科	1,309	3.59	1.16	842	2.31	0.75	447	1.22	0.40
計	112,542	308.33	100.00	112,834	309.13	100.00	112,576	308.43	100.00

〔大江分院〕 （単位：人・％）

診療科	令和4年度（診療日数365日）			令和3年度（診療日数365日）			令和2年度（診療日数365日）		
	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率
内科	16,761	45.92	100.00	19,793	54.23	100.00	20,899	57.26	100.00
計	16,761	45.92	100.00	19,793	54.23	100.00	20,899	57.26	100.00

② 外来患者数の状況

〈診療科別外来患者数の年度別比較〉

〔市民病院〕 （単位：人・%）

診療科	令和4年度（診療日数243日）			令和3年度（診療日数242日）			令和2年度（診療日数243日）		
	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率
内科	83,081	341.90	34.56	80,928	334.41	34.23	75,456	310.52	33.44
精神神経科	8,043	33.10	3.35	8,279	34.21	3.50	7,426	30.56	3.29
脳神経内科	4,202	17.29	1.75	4,237	17.51	1.79	3,973	16.35	1.76
小児科	14,813	60.96	6.16	13,864	57.29	5.86	12,199	50.20	5.41
外科	12,868	52.95	5.35	13,314	55.02	5.63	13,602	55.98	6.03
整形外科	25,924	106.68	10.78	25,442	105.13	10.76	26,869	110.57	11.91
形成外科	1,928	7.93	0.80	1,908	7.88	0.81	2,125	8.74	0.94
脳神経外科	4,980	20.49	2.07	5,085	21.01	2.15	5,179	21.31	2.29
心臓血管外科	386	1.59	0.16	282	1.17	0.12	335	1.38	0.15
小児外科	1,042	4.29	0.43	1,140	4.71	0.48	932	3.84	0.41
皮膚科	10,085	41.50	4.20	10,158	41.98	4.30	9,748	40.12	4.32
泌尿器科	27,858	114.64	11.59	27,529	113.76	11.65	26,017	107.07	11.53
産婦人科	12,546	51.63	5.22	13,189	54.50	5.58	11,613	47.79	5.15
眼科	16,457	67.72	6.85	14,704	60.76	6.22	13,831	56.92	6.13
耳鼻いんこう科	10,595	43.60	4.41	10,892	45.01	4.61	10,484	43.14	4.65
放射線科	5,583	22.98	2.32	5,439	22.48	2.30	5,881	24.20	2.61
計	240,391	989.26	100.00	236,390	976.82	100.00	225,670	928.68	100.00

〔大江分院〕

診療科	令和4年度（診療日数243日）			令和3年度（診療日数242日）			令和2年度（診療日数243日）		
	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率
内科	13,829	56.91	93.96	13,386	55.31	93.65	14,342	59.02	93.11
小児科	96	0.40	0.65	54	0.22	0.38	82	0.34	0.53
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科	793	3.26	5.39	853	3.52	5.97	979	4.03	6.36
計	14,718	60.57	100.00	14,293	59.06	100.00	15,403	63.39	100.00

市民病院の延入院患者数で増加した主な診療科は、整形外科、血液内科、耳鼻いんこう科、泌尿器科で、減少した主な診療科は、腫瘍内科、皮膚科、リハビリテーション科、消化器内科である。延外来患者数で増加した主な診療科は、内科、眼科、小児科、整形外科で、減少した主な診療科は、産婦人科、外科、耳鼻いんこう科、精神神経科である。

大江分院については、内科の延入院患者数は減少したが延外来患者数は増加した。また、小児科の延外来患者数は増加したがリハビリテーション科は減少した。

2 予算執行状況について（消費税及び地方消費税を含む。）

（1） 収益的収支

事業収益について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

〈収益的収入〉

（単位：円・％）

科目	予算額	構成比率 4年度	構成比率 3年度	決算額（うち仮受消費税及び地方消費税）	構成比率 4年度	構成比率 3年度	予算額に対する決算割合 4年度	予算額に対する決算割合 3年度
事業収益	15,856,275,000	100.00	100.00	16,548,104,283	100.00	100.00	104.36	102.45
市民病院事業収益	15,193,805,000	95.82	95.02	15,823,324,207	95.62	95.19	104.14	102.63
医業収益	13,797,369,000	87.02	85.48	14,203,429,313 (50,891,581)	85.83	84.98	102.94	101.86
医業外収益	1,284,026,000	8.10	8.80	1,510,119,044 (2,265,553)	9.13	9.47	117.61	110.27
看護学校収益	88,096,000	0.56	0.52	85,461,370 (78,297)	0.52	0.51	97.01	101.57
特別利益	24,314,000	0.15	0.23	24,314,480	0.15	0.22	100.00	100.00
大江分院事業収益	662,470,000	4.18	4.98	724,780,076	4.38	4.81	109.41	98.98
医業収益	509,366,000	3.21	3.86	565,056,503 (1,254,811)	3.41	3.64	110.93	96.80
医業外収益	114,449,000	0.72	0.85	120,888,533 (340,745)	0.73	0.93	105.63	111.80
訪問看護収益	27,660,000	0.17	0.20	27,839,738 (3,600)	0.17	0.17	100.65	86.44
特別利益	10,995,000	0.07	0.07	10,995,302	0.07	0.07	100.00	100.00

予算額に対する決算割合は、市民病院事業収益では 104.14％で、前年度に比べ 1.51 ポイント上回っており、大江分院事業収益では 109.41％で、前年度に比べ 10.43 ポイント上回っている。病院事業収益全体では 104.36％となっており、前年度に比べて 1.91 ポイント上回っている。

事業費用について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

〈収益的支出〉

（単位：円・％）

科目	予算額	構成比率 4年度	構成比率 3年度	決算額（うち仮払消費税及び地方消費税）	構成比率 4年度	構成比率 3年度	予算額に対する決算割合 4年度	予算額に対する決算割合 3年度
事業費用	16,452,822,000	100.00	100.00	16,049,621,257	100.00	100.00	97.55	97.57
市民病院事業費用	15,657,623,000	95.17	94.82	15,383,017,214	95.85	95.17	98.25	97.94
医業費用	14,955,710,000	90.90	90.42	14,703,119,755 (432,796,886)	91.61	90.94	98.31	98.13
医業外費用	526,244,000	3.20	3.42	523,308,681 (250,935)	3.26	3.31	99.44	94.50
看護学校費用	99,954,000	0.61	0.56	93,542,025 (885,170)	0.58	0.56	93.59	96.13
特別損失	73,515,000	0.45	0.40	63,046,753	0.39	0.37	85.76	90.30
予備費	2,200,000	0.01	0.01	0	－	－	－	－
大江分院事業費用	795,199,000	4.83	5.18	666,604,043	4.15	4.83	83.83	90.86
医業費用	747,906,000	4.55	4.88	622,885,879 (12,127,421)	3.88	4.53	83.28	90.53
医業外費用	6,134,000	0.04	0.04	6,131,559 (1,371)	0.04	0.04	99.96	99.97
訪問看護費用	38,759,000	0.24	0.24	36,614,053 (201,767)	0.23	0.24	94.47	98.55
特別損失	1,300,000	0.01	0.01	972,552	0.01	0.01	74.81	96.99
予備費	1,100,000	0.01	0.01	0	－	－	－	－

予算額に対する決算割合は、市民病院事業費用は 98.25％で、前年度に比べ 0.31 ポイント上回っており、大江分院事業費用は 83.83％で前年度に比べ 7.03 ポイント下回っている。病院事業費用全体では 97.55％で前年度に比べ 0.02 ポイント下回っている。

（2）資本的収支

資本的収支の予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

〈資本的収支〉

（単位：円・％）

科目		予算額（うち前年度予算繰越額）	構成比率 4年度	構成比率 3年度	決算額（うち仮受・仮払消費税及び地方消費税）	構成比率 4年度	構成比率 3年度	予算額に対する決算割合 4年度	予算額に対する決算割合 3年度
市民病院資本的収入		1,123,663,000	100.00	100.00	944,970,000	100.00	100.00	84.10	86.67
	企業債	588,300,000	52.36	53.09	440,600,000	46.63	46.24	74.89	75.49
	他会計負担金	519,363,000	46.22	46.91	479,892,000	50.78	51.76	92.40	95.63
	補助金	16,000,000	1.42	－	24,478,000	2.59	2.00	152.99	－
市民病院資本的支出		1,595,535,000 (8,402,000)	100.00	100.00	1,393,490,310	100.00	100.00	87.34	88.01
	建設改良費	809,720,000 (8,402,000)	50.75	50.29	607,675,959 (55,243,269)	43.61	43.52	75.05	76.16
	企業債償還金	785,815,000	49.25	49.71	785,814,351	56.39	56.48	100.00	100.00
市民病院収支不足額		△471,872,000 (△8,402,000)	－	－	△448,520,310	－	－	95.05	91.20
大江分院資本的収入		34,397,000	100.00	100.00	34,425,000	100.00	100.00	100.08	108.10
	他会計負担金	34,397,000	100.00	100.00	34,425,000	100.00	94.21	100.08	101.84
	補助金	0	－	－	0	－	5.79	－	－
大江分院資本的支出		36,134,000	100.00	100.00	36,099,753	100.00	100.00	99.91	99.57
	建設改良費	3,093,000	8.56	14.45	3,058,902 (278,082)	8.47	14.08	98.90	97.02
	企業債償還金	33,041,000	91.44	85.55	33,040,851	91.53	85.92	100.00	100.00
大江分院収支不足額		△1,737,000	－	－	△1,674,753	－	－	96.42	39.50
収支不足額計		△473,609,000 (△8,402,000)	－	－	△450,195,063	－	－	95.06	90.68

【補てん財源】

市民病院	損益勘定留保資金	468,302,000	99.24	99.23	446,461,356	99.54	99.51	95.34	91.46
	消費税及び地方消費税資本的収支調整額	3,570,000	0.76	0.77	2,058,954	0.46	0.49	57.67	57.53
	計	471,872,000	100.00	100.00	448,520,310	100.00	100.00	95.05	91.20
大江分院	損益勘定留保資金	1,723,000	99.19	99.83	1,664,389	99.38	99.03	96.60	39.18
	消費税及び地方消費税資本的収支調整額	14,000	0.81	0.17	10,364	0.62	0.97	74.03	229.10
	計	1,737,000	100.00	100.00	1,674,753	100.00	100.00	96.42	39.50
計		473,609,000			450,195,063			95.06	90.68

市民病院の決算額における資本的収入額は9億4,497万円、資本的支出額は13億9,349万310円で、収支不足額4億4,852万310円は、補てん財源の損益勘定留保資金4億4,646万1,356円と消費税及び地方消費税資本的収支調整額205万8,954円で補てんされている。

大江分院の決算額における資本的収入額は、3,442万5,000円、資本的支出額は3,609万9,753円で、収支不足額167万4,753円は、補てん財源の損益勘定留保資金166万4,389円と消費税及び地方消費税資本的収支調整額1万364円で補てんされている。

3　経営状況（損益収支）について（消費税及び地方消費税を除く。）

損益収支の状況を年度別に比較すると次のとおりである。

〈損益収支の年度別比較〉

〔市民病院〕　（単位：円・％）

区　分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和4年度対令和3年度	
				比較増減	増減率
総　収　益	15,770,088,836	14,859,307,234	14,359,076,892	910,781,602	6.13
総　費　用	15,331,840,797	14,459,288,699	14,047,248,505	872,552,098	6.03
損　　益	438,248,039	400,018,535	311,828,387	38,229,504	9.56

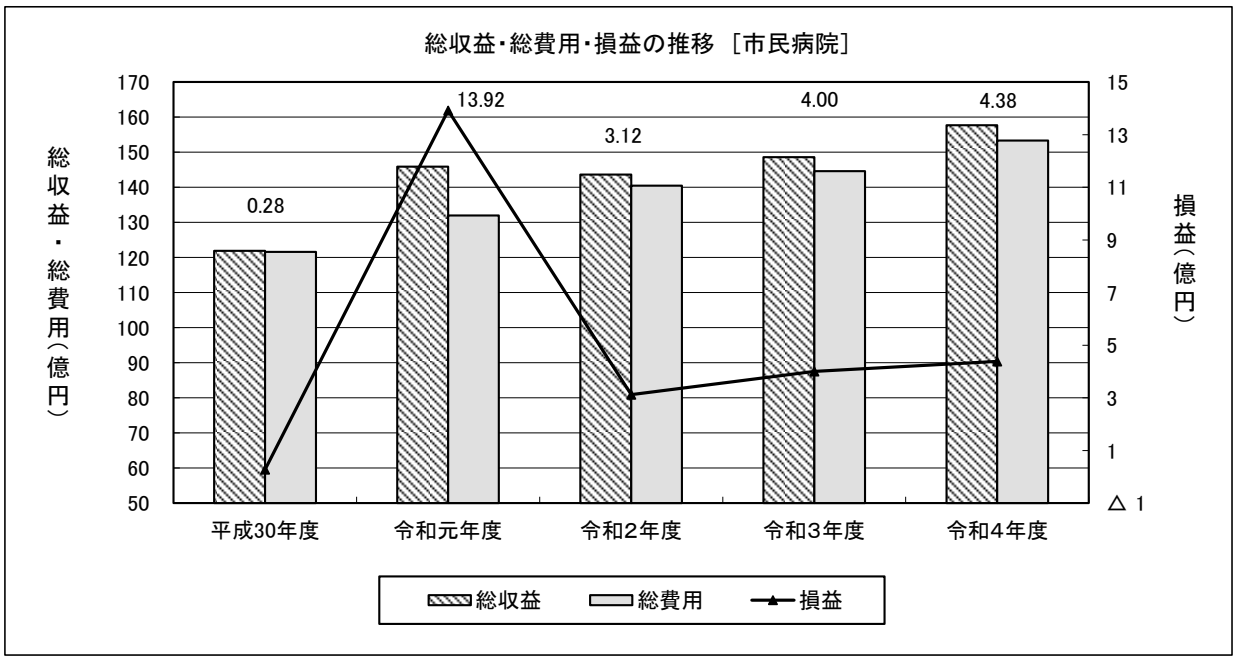
〔大江分院〕　（単位：円・％）

区　分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和4年度対令和3年度	
				比較増減	増減率
総　収　益	723,180,921	751,768,835	804,344,115	△28,587,914	△3.80
総　費　用	665,015,252	733,865,705	752,486,290	△68,850,453	△9.38
損　　益	58,165,669	17,903,130	51,857,825	40,262,539	224.89

市民病院は、前年度に比べ総収益が 9 億 1,078 万 1,602 円（6.13％）増加し、総費用も 8 億 7,255 万 2,098 円（6.03％）増加した結果、損益収支は前年度に比べ 3,822 万 9,504 円増加の 4 億 3,824 万 8,039 円の黒字となっている。

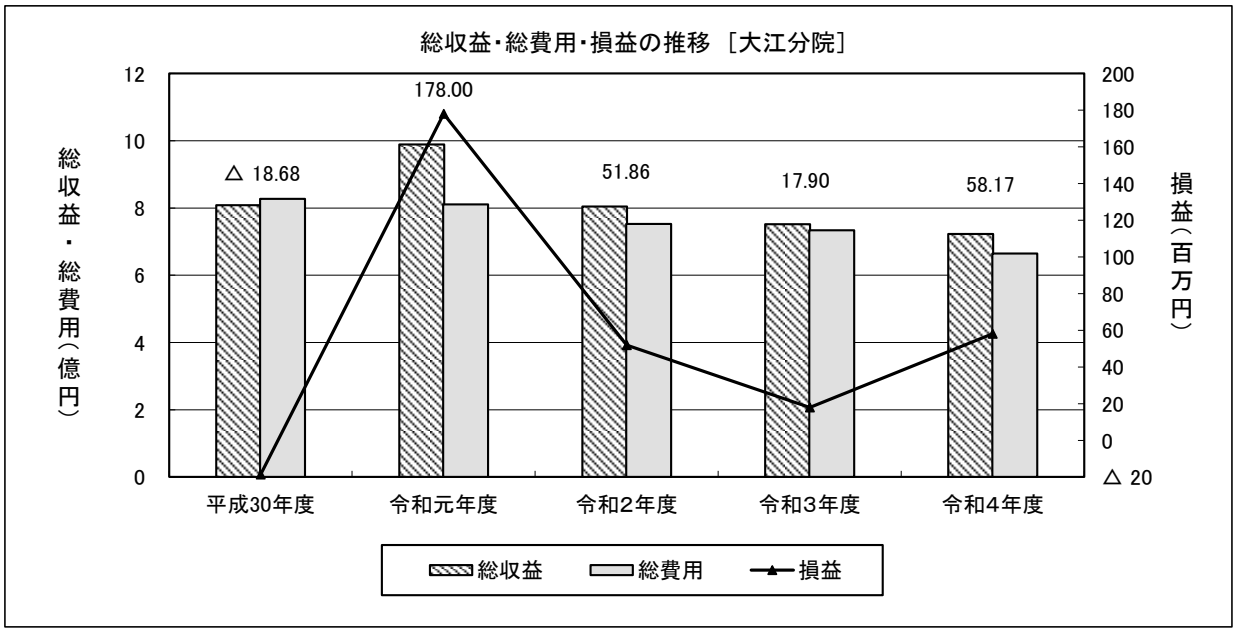
大江分院は、前年度に比べ総収益が 2,858 万 7,914 円（3.80％）減少し、総費用も 6,885 万 453 円（9.38％）減少したが、損益収支は前年度に比べ 4,026 万 2,539 円増加し、5,816 万 5,669 円の黒字となっている。

総収益、総費用及び損益の最近5か年の推移は次の図のとおりである。



市民病院と大江分院のいずれも令和元年度に総収益が大幅に増加しているが、その主要因は、会計基準の変更に伴う修正を令和元年度に行い、一般会計負担金のうち償却資産の財源となるもの（平成26～30年度分）を一括して特別利益（過年度損益修正益）として計上したことによるものである。

市民病院については、令和4年度の入院患者数は減少したが外来患者数は増加し、また、医療の高度化等により診療単価が伸びたため、総収益は増加している。その結果、平成 22 年度以降 13 年連続の黒字決算となっている。



大江分院については、病床機能の変更により入院診療単価が増加したため、診療収入は前年度とほぼ同額を維持している。また、費用の減少などにより、令和4年度も黒字決算となっている。

事業費用を性質別に分類して、年度別に比較すると次のとおりである。

〈性質別に分類した事業費用の年度別比較〉

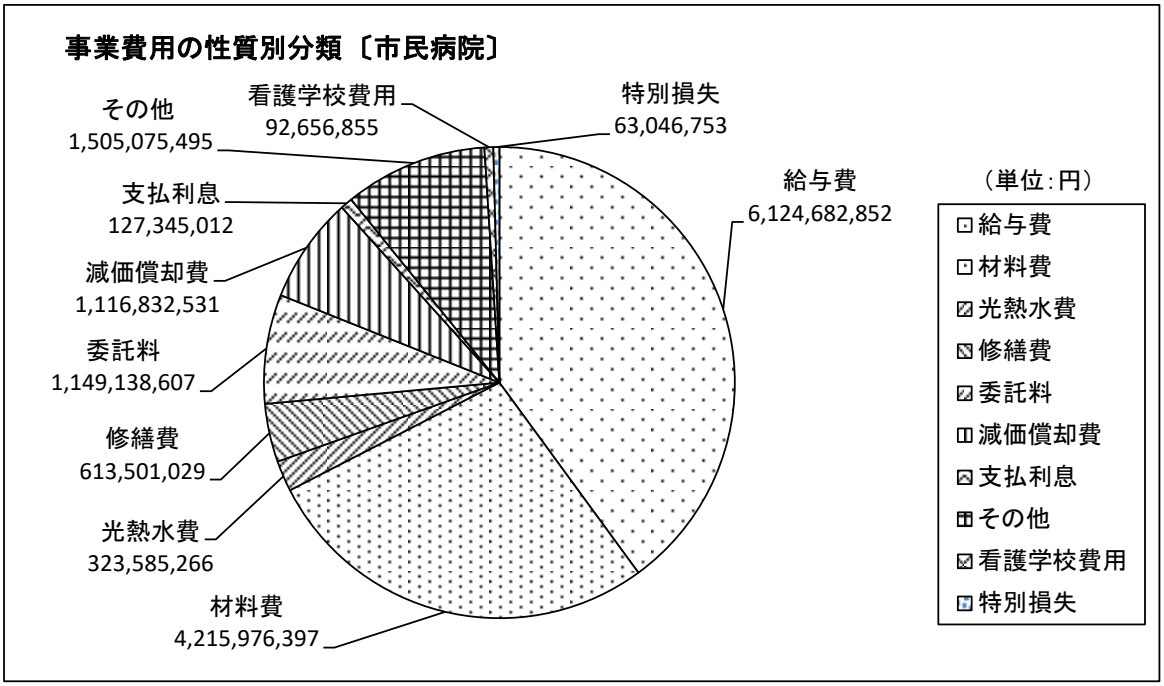
〔市民病院〕 （単位：円・％）

性質別分類	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和4年度対令和3年度	
	金　額	構成比率	金　額	構成比率	金　額	構成比率	比較増減	増減率
給　与　費	6,124,682,852	39.95	6,002,906,069	41.52	5,978,616,447	42.56	121,776,783	2.03
材　料　費	4,215,976,397	27.50	3,875,258,355	26.80	3,468,318,805	24.69	340,718,042	8.79
光熱水費	323,585,266	2.11	211,676,611	1.46	189,419,751	1.35	111,908,655	52.87
修　繕　費	613,501,029	4.00	563,469,400	3.90	521,562,116	3.71	50,031,629	8.88
委　託　料	1,149,138,607	7.50	1,092,268,369	7.55	1,027,680,028	7.32	56,870,238	5.21
減価償却費	1,116,832,531	7.28	1,080,932,066	7.48	1,055,952,723	7.52	35,900,465	3.32
支払利息	127,345,012	0.83	136,257,931	0.94	145,250,308	1.03	△8,912,919	△6.54
（うち企業債利息）	(127,345,012)	(0.83)	(136,257,931)	(0.94)	(145,250,308)	(1.03)	(△8,912,919)	(△6.54)
そ　の　他	1,505,075,495	9.82	1,356,575,428	9.38	1,289,749,209	9.18	148,500,067	10.95
看護学校費用	92,656,855	0.60	83,843,935	0.58	84,104,908	0.60	8,812,920	10.51
（うち給与費）	(76,971,631)	(0.50)	(66,784,394)	(0.46)	(65,155,205)	(0.46)	(10,187,237)	(15.25)
特別損失	63,046,753	0.41	56,100,535	0.39	286,594,210	2.04	6,946,218	12.38
計	15,331,840,797	100.00	14,459,288,699	100.00	14,047,248,505	100.00	872,552,098	6.03

（注） 給与費は、給料、手当等、報酬、法定福利費、退職給付費、賞与引当金繰入額、法定福利費引当金繰入額である。

市民病院の事業費用は、前年度に比べ 8 億 7,255 万 2,098 円（6.03％）増加している。

前年度に比べ増加した主なものは材料費、その他の費用、給与費、光熱水費であり、減少したものは支払利息である。



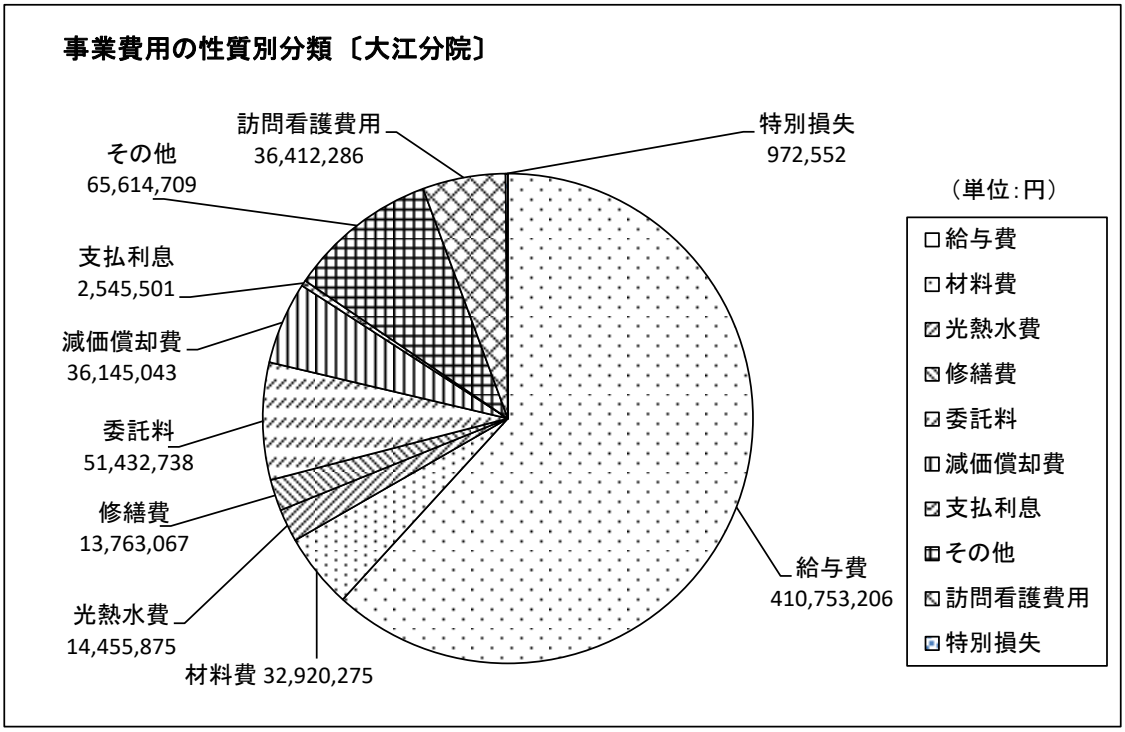
〔大江分院〕　　（単位：円・％）

性質別分類	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和4年度対令和3年度	
	金　額	構成比率	金　額	構成比率	金　額	構成比率	比較増減	増減率
給　与　費	410,753,206	61.77	430,274,877	58.63	464,048,317	61.67	△19,521,671	△4.54
材　料　費	32,920,275	4.95	37,380,172	5.09	36,016,112	4.79	△4,459,897	△11.93
光熱水費	14,455,875	2.17	12,808,114	1.75	11,093,272	1.47	1,647,761	12.86
修　繕　費	13,763,067	2.07	43,558,366	5.94	11,358,398	1.51	△29,795,299	△68.40
委　託　料	51,432,738	7.73	54,702,663	7.45	54,727,130	7.27	△3,269,925	△5.98
減価償却費	36,145,043	5.44	44,443,855	6.06	66,379,308	8.82	△8,298,812	△18.67
支払利息	2,545,501	0.38	2,764,257	0.38	2,972,744	0.40	△218,756	△7.91
(うち企業債利息)	(2,545,501)	(0.38)	(2,764,257)	(0.38)	(2,972,744)	(0.40)	(△218,756)	(△7.91)
そ　の　他	65,614,709	9.87	69,702,580	9.50	63,200,030	8.40	△4,087,871	△5.86
訪問看護費用	36,412,286	5.48	36,970,000	5.04	37,543,202	4.99	△557,714	△1.51
(うち給与費)	(34,126,811)	(5.13)	(34,534,654)	(4.71)	(35,040,985)	(4.66)	(△407,843)	(△1.18)
特別損失	972,552	0.15	1,260,821	0.17	5,147,777	0.68	△288,269	△22.86
計	665,015,252	100.00	733,865,705	100.00	752,486,290	100.00	△68,850,453	△9.38

（注）給与費は、給料、手当等、報酬、法定福利費、退職給付費、賞与引当金繰入額、法定福利費引当金繰入額である。

大江分院の事業費用は、前年度に比べ 6,885 万 453 円(9.38%)減少している。

前年度に比べ減少した主なものは修繕費、給与費、減価償却費であり、増加したものは光熱水費である。



4 財政状況（貸借対照表）について

（1）資　産

固定資産・流動資産を前年度と比較すると、次のとおりである。

〈資産の前年度比較〉

〔市民病院〕　（単位：円）

区分		令和4年度	令和3年度	増減
固定資産		14,452,407,045	15,072,017,300	△619,610,255
	有形固定資産	14,171,776,766	14,759,734,219	△587,957,453
	投資その他の資産	280,630,279	312,283,081	△31,652,802
流動資産		9,926,850,375	8,842,018,408	1,084,831,967
	現金預金	7,356,535,061	6,357,978,610	998,556,451
	未収金	2,531,589,934	2,450,289,828	81,300,106
	貸倒引当金	△3,623,254	△3,507,411	△115,843
	貯蔵品	40,996,934	36,168,481	4,828,453
	前払費用	1,041,700	1,088,900	△47,200
	その他流動資産	310,000	－	310,000
資産合計		24,379,257,420	23,914,035,708	465,221,712

〔大江分院〕　（単位：円）

区分		令和4年度	令和3年度	増減
固定資産		727,331,354	762,156,488	△34,825,134
	有形固定資産	705,654,297	738,828,658	△33,174,361
	投資その他の資産	21,677,057	23,327,830	△1,650,773
流動資産		433,979,912	390,281,241	43,698,671
	現金預金	309,782,980	261,467,968	48,315,012
	未収金	124,181,092	128,797,433	△4,616,341
	前払費用	15,840	15,840	0
資産合計		1,161,311,266	1,152,437,729	8,873,537

市民病院の資産は 243 億 7,925 万 7,420 円で、前年度より 4 億 6,522 万 1,712 円（1.95%）増加している。

固定資産は、144 億 5,240 万 7,045 円で、前年度に比べ 6 億 1,961 万 255 円減少している。主な要因は、医療機器等の減価償却などにより、有形固定資産が前年度に比べ 5 億 8,795 万 7,453 円減少したことによるものである。

流動資産は、99 億 2,685 万 375 円で、前年度に比べ 10 億 8,483 万 1,967 円増加している。主な要因は、現金預金や未収金の増加によるものである。

貯蔵品（内服薬・注射薬など）のたな卸については、現品過不足なく正確に処理されている。

大江分院の資産は、11 億 6,131 万 1,266 円で、前年度に比べ 887 万 3,537 円（0.77%）増加している。

固定資産は、7 億 2,733 万 1,354 円で、前年度に比べ 3,482 万 5,134 円減少している。主な要因は、建物等の減価償却などにより、有形固定資産が前年度に比べ 3,317 万 4,361 円減少したことによるものである。

流動資産は、4 億 3,397 万 9,912 円で、前年度に比べ 4,369 万 8,671 円増加している。主な要因は、現金預金の増加によるものである。

有形固定資産の増減状況は、次のとおりである。

〈有形固定資産の増減状況〉

〔市民病院〕 （単位：円）

項　目	増加したもの		減少したもの		増　減
	金　額	説　明	金　額	説　明	
建　物	－	－	860,487	施設用建物 860,487	△ 860,487
器械備品	552,831,990	病院用機器 552,158,490 看護学校用機器 673,500	394,308,594	病院用機器 393,918,224 看護学校用機器 390,370	158,523,396
建設仮勘定	552,432,690	未供用資産 552,432,690	552,432,690	供用開始による振替 552,432,690	0
計	1,105,264,680	－	947,601,771	－	157,662,909

市民病院の年度末における有形固定資産の現在高は 275 億 5,297 万 6,929 円で、前年度に比べ 1 億 5,766 万 2,909 円増加している。減価償却累計額 133 億 8,120 万 163 円を控除すると令和4年度末の償却未済額は 141 億 7,177 万 6,766 円である。

〔大江分院〕 （単位：円）

項　目	増加したもの		減少したもの		増　減
	金　額	説　明	金　額	説　明	
器械備品	2,780,820	病院用機器 2,780,820	195,000	病院用機器 195,000	2,585,820
車　両	501,211	病院用車両 501,211	301,599	病院用車両 301,599	199,612
建設仮勘定	2,780,820	未供用資産 2,780,820	2,780,820	供用開始による振替 2,780,820	0
計	6,062,851	－	3,277,419	－	2,785,432

大江分院の年度末における有形固定資産の現在高は 13 億 4,741 万 6,717 円で、前年度に比べ 278 万 5,432 円増加している。減価償却累計額 6 億 4,176 万 2,420 円を控除すると令和4年度末の償却未済額は 7 億 565 万 4,297 円である。

債権放棄により不納欠損処分されたものは、次のとおりである。

〈不納欠損処分の内訳〉

債 権 名	人数(人)	件数(件)	金 額 (円)	理 由 別 内 訳
診 療 費	45	97	5,425,157	生活保護 2人 5件 65,170円 自己破産 1人 1件 27,570円 時 効 29人 71件 4,499,977円 徴収停止 13人 20件 832,440円
計	45	97	5,425,157	

当年度の不納欠損は、前年度に比べ29人、18件増加しているが、金額は42万3,161円減少している。

(2) 負 債

固定負債を前年度と比較すると、次のとおりである。

〈固定負債の前年度比較〉

〔市民病院〕 (単位:円)

科 目	令和4年度	令和3年度	増 減
企 業 債	6,553,047,922	7,009,449,494	△456,401,572
引 当 金	1,119,179,572	928,714,571	190,465,001
計	7,672,227,494	7,938,164,065	△265,936,571

〔大江分院〕 (単位:円)

科 目	令和4年度	令和3年度	増 減
企 業 債	337,853,742	371,116,845	△33,263,103
引 当 金	62,781,259	57,999,230	4,782,029
計	400,635,001	429,116,075	△28,481,074

市民病院の固定負債は、前年度に比べ2億6,593万6,571円(3.35%)減少し、76億7,222万7,494円となっている。

企業債は、新規借入が4億4,060万円あったが、翌年度の償還額8億9,700万1,572円が流動負債に振り替えられたことにより4億5,640万1,572円の減少となっている。引当金は、退職給付引当金が1億712万5,999円、修繕引当金が2,600万円、特別修繕引当金が1億2,600万円取り崩されたが、新たに退職給付引当金が3億9,759万1,000円、修繕引当金が2,600万円、特別修繕引当金が2,600万円計上されたことにより1億9,046万5,001円増加している。

大江分院の固定負債は、前年度に比べ2,848万1,074円(6.64%)減少し、4億63万5,001円となっている。

企業債は、翌年度の償還額3,326万3,103円が流動負債に振り替えられたことにより減少している。引当金は、退職給付引当金が470万4,971円取り崩されたが、新たに948万7,000円計上されたことにより478万2,029円増加している。

流動負債を前年度と比較すると、次のとおりで不良債務はない。

〈流動負債の前年度比較〉

〔市民病院〕 （単位:円）

科　　目	令和4年度	令和3年度	増　　減
企　業　債	897,001,572	785,814,351	111,187,221
未　払　金	1,364,238,631	1,123,245,041	240,993,590
未 払 費 用	3,036,586	7,900,587	△4,864,001
預　り　金	58,125,932	57,223,472	902,460
引　当　金	343,448,000	352,024,000	△8,576,000
計	2,665,850,721	2,326,207,451	339,643,270

〔大江分院〕 （単位:円）

科　　目	令和4年度	令和3年度	増　　減
企　業　債	33,263,103	33,040,851	222,252
未　払　金	27,119,429	32,724,557	△5,605,128
未 払 費 用	777,114	1,050,913	△273,799
預　り　金	136,480	99,650	36,830
引　当　金	24,009,000	25,804,000	△1,795,000
計	85,305,126	92,719,971	△7,414,845

市民病院の流動負債は、未払費用や引当金は減少したものの企業債や未払金などの増加により、前年度に比べ 3 億 3,964 万 3,270 円（14.60%）増の 26 億 6,585 万 721 円となっている。

大江分院の流動負債は、企業債などは増加したが、未払金と引当金などが減少したことにより前年度に比べ 741 万 4,845 円（8.00%）減の 8,530 万 5,126 円となっている。

繰延収益を前年度と比較すると、次のとおりである。

〈繰延収益の前年度比較〉

〔市民病院〕 （単位：円）

科　　目	令和4年度	令和3年度	増　　減
長期前受金	5,385,551,812	4,937,891,190	447,660,622
長期前受金収益化累計額	△4,202,398,855	△3,666,845,207	△535,553,648
計	1,183,152,957	1,271,045,983	△87,893,026

〔大江分院〕 （単位：円）

科　　目	令和4年度	令和3年度	増　　減
長期前受金	886,410,742	851,786,550	34,624,192
長期前受金収益化累計額	△639,414,195	△591,393,790	△48,020,405
計	246,996,547	260,392,760	△13,396,213

繰延収益は、前年度に比べ市民病院では 8,789 万 3,026 円（6.92%）減少し 11 億 8,315 万 2,957 円となっており、大江分院では 1,339 万 6,213 円（5.14%）減少し 2 億 4,699 万 6,547 円となっている。

（3）資本金

資本金を前年度と比較すると、次のとおりである。

〈資本金の前年度比較〉

〔市民病院〕 （単位：円）

科　　目	令和4年度	令和3年度	増　　減
資本金	5,090,323,092	5,049,163,092	41,160,000
自己資本金	5,090,323,092	5,049,163,092	41,160,000
固有資本金	235,358,092	235,358,092	0
繰入資本金	4,521,665,000	4,480,505,000	41,160,000
組入資本金	333,300,000	333,300,000	0

〔大江分院〕 （単位：円）

科　　目	令和4年度	令和3年度	増　　減
資本金	0	0	0

市民病院の資本金は 50 億 9,032 万 3,092 円であり、前年度に比べ 4,116 万円（0.82%）増加している。また、大江分院の資本金は 0 円であり増減はない。

（4）剰余金

剰余金を前年度と比較すると、次のとおりである。

〈剰余金の前年度比較〉

〔市民病院〕 （単位：円）

科　　目	令和4年度	令和3年度	増　　減
剰　余　金	7,767,703,156	7,329,455,117	438,248,039
資本剰余金	7,278,156,635	7,278,156,635	0
受贈財産評価額	7,033,428,635	7,033,428,635	0
補　助　金	244,728,000	244,728,000	0
利益剰余金	489,546,521	51,298,482	438,248,039
当年度未処分利益剰余金	489,546,521	51,298,482	438,248,039

〔大江分院〕 （単位：円）

科　　目	令和4年度	令和3年度	増　　減
剰　余　金	428,374,592	370,208,923	58,165,669
資本剰余金	102,039,364	102,039,364	0
受贈財産評価額	102,039,364	102,039,364	0
利益剰余金	326,335,228	268,169,559	58,165,669
当年度未処分利益剰余金	326,335,228	268,169,559	58,165,669

市民病院の剰余金は77億6,770万3,156円であり、前年度に比べ4億3,824万8,039円（5.98%）増加している。利益剰余金は、当年度純利益が 4 億 3,824 万 8,039 円計上されたことにより、4 億 8,954 万 6,521 円となっている。

大江分院の剰余金は4億2,837万4,592円となっており、前年度に比べ5,816万5,669円（15.71%）増加している。利益剰余金は、当年度純利益が 5,816 万 5,669 円計上されたことにより、3 億 2,633 万 5,228 円となっている。

5 キャッシュ・フローについて

キャッシュ・フローの状況は、次のとおりである。

＜キャッシュ・フローの状況＞

〔市民病院〕 （単位:円）

区　　分	金　　額
A　資金期首残高	6,357,978,610
①　業務活動によるキャッシュ・フロー	1,291,666,901
②　投資活動によるキャッシュ・フロー	△406,044,099
③　財務活動によるキャッシュ・フロー	112,933,649
B　資金増減額　（①＋②＋③）	998,556,451
C　資金期末残高　（A＋B）	7,356,535,061

〔大江分院〕 （単位:円）

区　　分	金　　額
A　資金期首残高	261,467,968
①　業務活動によるキャッシュ・フロー	49,979,401
②　投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,664,538
③　財務活動によるキャッシュ・フロー	149
B　資金増減額　（①＋②＋③）	48,315,012
C　資金期末残高　（A＋B）	309,782,980

キャッシュ・フロー計算書の資金期末残高は、市民病院、大江分院とも貸借対照表における流動資産の現金預金の額と一致している。

６ む す び

業務実績をみると、市民病院の令和4年度の年間延患者数については、入院が 11 万 2,542 人で前年度に比べ 292 人(0.26%)の減少、外来は 24 万 391 人で前年度に比べ 4,001 人(1.69%)の増加、総患者数は 3,709 人(1.06%)の増加となっている。これを1日平均でみると、入院患者は 0.80 人の減少、外来患者については 12.44 人の増加となっている。

また、大江分院については、入院が 1 万 6,761 人で前年度に比べ 3,032 人(15.32%)の減少、外来は 1 万 4,718 人で前年度に比べ 425 人(2.97%)の増加、総患者数は 2,607 人(7.65%)の減少となっており、これを1日平均でみると、前年度よりも入院患者数は 8.31 人の減少、外来患者数は 1.51 人の増加となっている。

市民病院においては患者数の増加に加え、がん治療や血管内治療などの高度医療や手術件数の増加、また結核病床と感染症病床を新型コロナ専用病床として運用したことなどによって診療単価が大きく伸びたことにより医業収益は増加している。医業費用については、がん治療をはじめとする高額医薬品や手術材料などの材料費や委託料、修繕費の増加に加え、国際情勢や円安に起因する原料価格高騰による電気・ガスといった光熱費が大きく増加したが、診療収入の増加に加え、新型コロナ対応に対する府補助金なども寄与し、当年度純利益が 4 億 3,824 万 8,039 円計上され、未処分利益剰余金は 4 億 8,954 万 6,521 円となっている。市民病院は平成 22 年度以降 13 年連続の黒字決算となっている。

また、大江分院においては、病床機能変更による入院診療単価の増加により、医業収益は前年度とほぼ同額を維持している。医業費用については、給与費、経費、減価償却費などが減少したことなどにより、当年度純利益 5,816 万 5,669 円が計上され、未処分利益剰余金は 3 億 2,633 万 5,228 円となっている。

債権の放棄に伴う不納欠損処分は、45 人、97 件、542 万 5,157 円であり、前年度に比べ 29 人、18 件増加しているが、金額は 42 万 3,161 円の減少となっている。いずれも法令の規定により処理されているが、今後とも負担の公平性を確保するため適正な債権管理に努め、併せて新規未納者の発生を防止するため、早い段階での相談業務等その徴収体制を維持・継続されたい。

次に経営分析からみた経営の状況は以下のとおりである。

① 流動比率については、1年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債を比較して安全性を判断する指標であり、一般的には 200%以上が理想とされている。市民病院は前年度に比べ 7.73 ポイント低下して 372.37%となり、大江分院については、前年度に比べ 87.82 ポイント向上して 508.74%となっている。

② 固定資産回転率については、事業収益と設備投資に投入された資本との関係で設備利用の度合いを見る指標であり、大きいほど良いとされている。市民病院は前年度に比べ 0.095 回向上し、0.959 回となっている。大江分院は、前年度に比べ 0.03 回向上し、0.757 回となっている。

③ 固定長期適合率については、固定資産が資本の範囲内で調達されているかを示す指標であり、100%以下が健全とされており、市民病院は前年度と比べ 3.26 ポイント向上し、66.56%となっており、大江分院は前年度と比べ 4.32 ポイント向上し、67.60%となっている。

④ 利益比率については、利益幅の程度を示す指標であり、高いほど良好とされており、市民病院は前年度に比べ 0.08 ポイント向上し 3.10%となっている。大江分院は前年度と比べ 7.17 ポイント向上し、10.32%となっている。

（参考資料）

① 流動比率 ＝ 流動資産 ／ 流動負債 × 100

	令和4年度	令和3年度
市	372.37%	380.10%
大	508.74%	420.92%

② 固定資産回転率 ＝ 医業収益 ／ （期末固定資産＋期首固定資産）÷2

	令和4年度	令和3年度
市	0.959回	0.864回
大	0.757回	0.727回

③ 固定長期適合率 ＝ 固定資産 ／ 自己資本+固定負債+繰延収益 × 100

（自己資本＝自己資本金＋剰余金）

	令和4年度	令和3年度
市	66.56%	69.82%
大	67.60%	71.92%

④ 利益比率 ＝ 利益 ／ 医業収益 × 100

	令和4年度	令和3年度
市	3.10%	3.02%
大	10.32%	3.15%

（注）表の上段は市民病院、下段は大江分院

総務省が公表している令和3年度決算に係る公立病院の経営比較分析表によると、市民病院については、病床利用率、入院・外来患者数は、ともに全国及び類似病院の平均を上回っており、職員1人当たりの診療収入も同様に良好な状況にある。

令和4年度の病院事業の運営については、高度化、多様化する本市や近隣市町住民の医療ニーズに応えるため、リモートアフターローディングシステム（腔内照射装置）更新事業を年度当初に完了し、また、手術室の重症系麻酔記録等管理システム、放射線科の一般撮影画像読取システムや眼科の白内障手術装置等の更新・整備事業を進めるなど、医療提供体制の充実が図られている。

新型コロナウイルス感染症は、第7波、第8波と続けて流行の波が到来し、病院事業運営において大きな支障となったが、入院患者の受入、発熱外来、PCR検査、ワクチン接種などの新型コロナウイルス感染症への対応と、救急医療・高度医療をはじめとする通常診療の両立・継続に総力を挙げてあたり、地域住民への安全で良質かつ安定した医療の提供に努められている。

大江分院については、人口減少と高齢化が進む地域の医療ニーズに合わせ、一般病床を地域包括ケア病床とし、病床機能の見直しが図られている。今後においても引き続きの経営努力と将来を見据えて地域特性に応じた運営が必要とされている。

市立福知山市民病院が、「命と健康を守り、信頼される病院」という基本理念のもと、安定した経営を維持し、時代の変化や様々な医療ニーズに応える基幹的総合病院として一層進化しつづけられることを望むものである。

1　損益計算書構成並びにすう勢比率表　〔市民病院〕

（注）すう勢比率は、令和2年度を100%とする。

借方 科目	金額	構成比率 令和4年度	構成比率 令和3年度	すう勢比率 令和4年度	すう勢比率 令和3年度	貸方 科目	金額	構成比率 令和4年度	構成比率 令和3年度	すう勢比率 令和4年度	すう勢比率 令和3年度
	円	%	%	%	%		円	%	%	%	%
1 医業費用	14,270,322,869	93.08	93.33	110.78	104.76	1 医業収益	14,152,537,732	89.74	89.26	112.92	105.83
(1) 給与費	6,124,682,852	39.95	41.52	102.44	100.41	(1) 入院収益	8,419,628,524	53.39	52.50	111.76	103.56
(2) 材料費	4,215,976,397	27.50	26.80	121.56	111.73	(2) 外来収益	4,930,213,959	31.26	31.37	115.39	109.11
(3) 経費	2,759,872,174	18.00	17.20	119.28	107.49	(3) 他会計負担金	207,606,000	1.32	1.46	99.81	104.36
(4) 減価償却費	1,116,832,531	7.28	7.48	105.77	102.37	(4) その他医業収益	595,089,249	3.77	3.92	114.59	112.30
(5) 資産減耗費	6,268,098	0.04	0.06	25.41	35.83	2 医業外収益	1,507,853,551	9.56	9.96	100.98	99.16
(6) 研究研修費	46,690,817	0.30	0.27	116.27	97.63	(1) 受取利息	6,419,403	0.04	0.05	85.21	92.73
2 医業外費用	905,814,320	5.91	5.71	113.92	103.78	(2) 他会計負担金	512,684,000	3.25	3.40	103.82	102.32
(1) 支払利息	127,345,012	0.83	0.94	87.67	93.81	(3) 補助金	418,061,850	2.65	2.51	91.37	81.47
(2) 院内保育所費	24,755,382	0.16	0.15	91.65	80.99	(4) 院内保育所収益	2,473,108	0.02	0.02	62.32	72.38
(3) 長期前払消費税償却	84,753,666	0.55	0.56	107.74	102.20	(5) 長期前受金戻入	527,104,395	3.34	3.43	111.33	107.59
(4) 雑支出	668,960,260	4.36	4.06	122.93	107.81	(6) その他医業外収益	41,110,795	0.26	0.43	74.91	116.84
3 看護学校費用	92,656,855	0.60	0.58	110.17	99.69	他会計補助金	－	－	0.13	－	939.30
(1) 給与費	76,971,631	0.50	0.46	118.14	102.50	3 看護学校収益	85,383,073	0.54	0.54	113.07	106.01
(2) 経費	11,955,126	0.08	0.08	82.81	80.58	(1) 授業料収益	7,920,000	0.05	0.06	74.16	84.27
(3) 減価償却費	3,710,579	0.02	0.04	83.37	119.40	(2) 受験手数料収益	330,000	0.00	0.00	62.86	80.00
(4) 資産減耗費	19,519	0.00	0.00	31.17	178.67	(3) 入学金収益	2,700,000	0.02	0.02	75.00	83.33
4 特別損失	63,046,753	0.41	0.39	22.00	19.57	(4) 他会計負担金	73,649,000	0.47	0.45	125.03	113.62
小計	15,331,840,797	100.00	100.00	109.14	102.93	(5) その他看護学校収益	784,073	0.00	0.00	115.27	104.45
当年度純利益	438,248,039	－	－	140.54	128.28	4 特別利益	24,314,480	0.15	0.23	9.47	13.57
合計	15,770,088,836	－	－	109.83	103.48	合計	15,770,088,836	100.00	100.00	109.83	103.48

2　損益計算書構成並びにすう勢比率表　〔大江分院〕

（注）すう勢比率は、令和2年度を100%とする。

借方						貸方					
科目	金額	構成比率		すう勢比率		科目	金額	構成比率		すう勢比率	
		令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度			令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
	円	%	%	%	%		円	%	%	%	%
1 医業費用	610,758,458	91.84	92.26	88.16	97.74	1 医業収益	563,801,692	77.96	75.71	92.87	93.76
(1) 給与費	410,753,206	61.77	58.63	88.52	92.72	(1) 入院収益	421,672,522	58.31	56.23	93.26	93.50
(2) 材料費	32,920,275	4.95	5.09	91.40	103.79	(2) 外来収益	123,334,830	17.05	16.51	89.55	90.10
(3) 経費	129,538,957	19.48	22.28	103.83	131.08	(3) その他医業収益	18,794,340	2.60	2.97	109.36	130.01
(4) 減価償却費	36,145,043	5.44	6.06	54.45	66.95	2 医業外収益	120,547,789	16.67	19.23	75.59	90.64
(5) 資産減耗費	311,349	0.05	0.06	202.18	300.65	(1) 受取利息	259,396	0.04	0.04	－	－
(6) 研究研修費	1,089,628	0.16	0.14	77.29	70.81	(2) 他会計負担金	63,361,000	8.76	9.79	88.34	102.63
2 医業外費用	16,871,956	2.54	2.53	99.10	108.89	(3) 補助金	15,982,000	2.21	2.86	98.56	132.60
(1) 支払利息	2,545,501	0.38	0.38	85.63	92.99	(4) 長期前受金戻入	37,326,702	5.16	5.96	56.27	67.58
(2) 長期前払消費税償却	1,918,071	0.29	0.26	96.81	95.44	(5) その他医業外収益	3,618,691	0.50	0.57	69.51	82.85
(3) 雑支出	12,408,384	1.87	1.89	102.79	115.02	3 訪問看護収益	27,836,138	3.85	3.60	96.15	93.51
3 訪問看護費用	36,412,286	5.48	5.04	96.99	98.47	(1) 訪問看護収益	21,316,411	2.95	2.69	98.58	93.54
(1) 給与費	34,126,811	5.13	4.71	97.39	98.56	(2) 訪問看護利用料収益	2,131,297	0.29	0.25	99.44	87.39
(2) 経費	2,285,475	0.34	0.33	91.34	97.33	(3) 居宅介護支援収益	4,388,430	0.61	0.66	84.68	95.89
4 特別損失	972,552	0.15	0.17	18.89	24.49	4 特別利益	10,995,302	1.52	1.46	124.50	123.96
小計	665,015,252	100.00	100.00	88.38	97.53						
当年度純利益	58,165,669	－	－	112.16	34.52						
合計	723,180,921	－	－	89.91	93.46	合計	723,180,921	100.00	100.00	89.91	93.46

3　貸借対照表構成並びにすう勢比率表　　〔市民病院〕

（注）すう勢比率は、令和2年度を100%とする。

借方						貸方					
科目	金額	構成比率		すう勢比率		科目	金額	構成比率		すう勢比率	
		令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度			令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
	円	%	%	%	%		円	%	%	%	%
1 固定資産	14,452,407,045	59.28	63.03	92.42	96.39	1 固定負債	7,672,227,494	31.47	33.19	96.64	99.98
(1) 有形固定資産	14,171,776,766	58.13	61.72	92.64	96.48	(1) 企業債	6,553,047,922	26.88	29.31	89.26	95.48
(2) 投資その他の資産	280,630,279	1.15	1.31	82.79	92.13	(2) 引当金	1,119,179,572	4.59	3.88	187.21	155.35
2 流動資産	9,926,850,375	40.72	36.97	126.89	113.03	2 流動負債	2,665,850,721	10.93	9.73	117.81	102.80
(1) 現金預金	7,356,535,061	30.18	26.59	132.15	114.21	(1) 企業債	897,001,572	3.68	3.29	112.37	98.44
(2) 未収金	2,531,589,934	10.38	10.25	113.69	110.04	(2) 未払金	1,364,238,631	5.60	4.70	134.57	110.80
貸倒引当金	△ 3,623,254	△0.01	△0.01	－	－	(3) 未払費用	3,036,586	0.01	0.03	37.66	97.97
(3) 貯蔵品	40,996,934	0.17	0.15	126.05	111.20	(4) 預り金	58,125,932	0.24	0.24	61.52	60.56
(4) 前払費用	1,041,700	0.00	0.00	95.92	100.27	(5) 引当金	343,448,000	1.41	1.47	98.63	101.09
(5) その他流動資産	310,000	0.00	－	－	－	3 繰延収益	1,183,152,957	4.85	5.32	89.61	96.27
						(1) 長期前受金	5,385,551,812	22.09	20.65	119.37	109.45
						(2) 長期前受金収益化累計額	△ 4,202,398,855	△17.24	△15.33	－	－
						4 資本金	5,090,323,092	20.88	21.11	101.64	100.82
						(1) 自己資本金	5,090,323,092	20.88	21.11	101.64	100.82
						5 剰余金	7,767,703,156	31.86	30.65	112.10	105.77
						(1) 資本剰余金	7,278,156,635	29.85	30.43	100.00	100.00
						(2) 利益剰余金（欠損金）	489,546,521	2.01	0.21	－	－
資産合計	24,379,257,420	100.00	100.00	103.92	101.93	負債資本合計	24,379,257,420	100.00	100.00	103.92	101.93

4　貸借対照表構成並びにすう勢比率表　　〔大江分院〕

（注）すう勢比率は、令和2年度を100%とする。

借方						貸方					
科目	金額	構成比率		すう勢比率		科目	金額	構成比率		すう勢比率	
		令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度			令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
	円	%	%	%	%		円	%	%	%	%
1 固定資産	727,331,354	62.63	66.13	90.51	94.84	1 固定負債	400,635,001	34.50	37.24	90.78	97.23
(1) 有形固定資産	705,654,297	60.76	64.11	90.60	94.86	(1) 企業債	337,853,742	29.09	32.20	83.59	91.82
(2) 投資その他の資産	21,677,057	1.87	2.02	87.59	94.26	(2) 引当金	62,781,259	5.41	5.03	168.89	156.02
2 流動資産	433,979,912	37.37	33.87	114.58	103.05	2 流動負債	85,305,126	7.35	8.05	78.37	85.18
(1) 現金預金	309,782,980	26.68	22.69	127.00	107.19	(1) 企業債	33,263,103	2.86	2.87	101.34	100.67
(2) 未収金	124,181,092	10.69	11.18	92.12	95.55	(2) 未払金	27,119,429	2.34	2.84	61.84	74.63
(3) 前払費用	15,840	0.00	0.00	100.00	100.00	(3) 未払費用	777,114	0.07	0.09	98.28	132.91
						(4) 預り金	136,480	0.01	0.01	2,349.05	1,715.15
						(5) 引当金	24,009,000	2.07	2.24	76.51	82.23
						3 繰延収益	246,996,547	21.27	22.59	88.26	93.05
						(1) 長期前受金	886,410,742	76.33	73.91	108.56	104.32
						(2) 長期前受金収益化累計額	△ 639,414,195	△55.06	△51.32	－	－
						4 資本金	－	－	－	－	－
						5 剰余金	428,374,592	36.89	32.12	121.59	105.08
						(1) 資本剰余金	102,039,364	8.79	8.85	100.00	100.00
						(2) 利益剰余金	326,335,228	28.10	23.27	130.40	107.15
資産合計	1,161,311,266	100.00	100.00	98.22	97.47	負債資本合計	1,161,311,266	100.00	100.00	98.22	97.47

5 診療科目別・月別入院患者数の状況表

〔市民病院〕

上段：延　患　者　数
下段：一日平均患者数　　（単位：人）

診療科／月	内 科	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	血液内科	腫瘍内科	腎臓内科	糖尿病内科	小児科	外 科	整形外科	形成外科	脳神経外科	小児外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼 科	耳鼻いんこう科	放射線科	リハビリテーション科	救急科	計
4	619	370	896	674	1,134	523	87	86	129	557	1,446	40	448	2	118	421	301	51	128	1	1,287	44	9,362
	20.63	12.33	29.87	22.47	37.80	17.43	2.90	2.87	4.30	18.57	48.20	1.33	14.93	0.07	3.93	14.03	10.03	1.70	4.27	0.03	42.90	1.47	312.07
5	567	394	848	640	1,308	658	97	65	252	594	1,322	5	461	4	142	442	371	87	186	0	1,329	13	9,785
	18.29	12.71	27.35	20.65	42.19	21.23	3.13	2.10	8.13	19.16	42.65	0.16	14.87	0.13	4.58	14.26	11.97	2.81	6.00	0.00	42.87	0.42	315.65
6	327	286	917	686	1,147	722	81	52	230	569	1,270	23	409	1	65	322	369	125	227	0	1,307	54	9,189
	10.90	9.53	30.57	22.87	38.23	24.07	2.70	1.73	7.67	18.97	42.33	0.77	13.63	0.03	2.17	10.73	12.30	4.17	7.57	0.00	43.57	1.80	306.30
7	495	486	970	696	1,018	824	46	35	425	516	1,396	12	584	4	84	313	407	137	171	4	1,245	117	9,985
	15.97	15.68	31.29	22.45	32.84	26.58	1.48	1.13	13.71	16.65	45.03	0.39	18.84	0.13	2.71	10.10	13.13	4.42	5.52	0.13	40.16	3.77	322.10
8	678	361	693	554	973	830	42	39	226	505	1,287	60	550	4	93	242	408	94	250	4	1,128	182	9,203
	21.87	11.65	22.35	17.87	31.39	26.77	1.35	1.26	7.29	16.29	41.52	1.94	17.74	0.13	3.00	7.81	13.16	3.03	8.06	0.13	36.39	5.87	296.87
9	551	346	868	442	937	812	28	34	181	530	1,502	52	652	3	84	298	436	58	209	2	1,278	223	9,526
	18.37	11.53	28.93	14.73	31.23	27.07	0.93	1.13	6.03	17.67	50.07	1.73	21.73	0.10	2.80	9.93	14.53	1.93	6.97	0.07	42.60	7.43	317.53
10	528	220	741	543	948	735	71	38	221	682	1,462	28	567	2	35	401	392	94	187	6	1,359	197	9,457
	17.03	7.10	23.90	17.52	30.58	23.71	2.29	1.23	7.13	22.00	47.16	0.90	18.29	0.06	1.13	12.94	12.65	3.03	6.03	0.19	43.84	6.35	305.06
11	631	299	809	477	779	611	94	76	262	516	1,435	35	601	2	43	372	301	86	241	0	1,104	117	8,891
	21.03	9.97	26.97	15.90	25.97	20.37	3.13	2.53	8.73	17.20	47.83	1.17	20.03	0.07	1.43	12.40	10.03	2.87	8.03	0.00	36.80	3.90	296.37
12	599	404	527	557	956	548	57	69	164	570	1,518	22	554	2	46	340	309	57	202	0	1,084	114	8,699
	19.32	13.03	17.00	17.97	30.84	17.68	1.84	2.23	5.29	18.39	48.97	0.71	17.87	0.06	1.48	10.97	9.97	1.84	6.52	0.00	34.97	3.68	280.61
1	852	408	727	660	920	595	37	180	228	592	1,445	28	536	4	25	280	268	121	193	0	1,327	85	9,511
	27.48	13.16	23.45	21.29	29.68	19.19	1.19	5.81	7.35	19.10	46.61	0.90	17.29	0.13	0.81	9.03	8.65	3.90	6.23	0.00	42.81	2.74	306.81
2	645	297	643	632	1,015	538	50	34	172	620	1,469	39	577	2	42	205	313	88	261	0	1,230	96	8,968
	23.04	10.61	22.96	22.57	36.25	19.21	1.79	1.21	6.14	22.14	52.46	1.39	20.61	0.07	1.50	7.32	11.18	3.14	9.32	0.00	43.93	3.43	320.29
3	719	479	819	575	1,448	596	81	44	187	578	1,387	30	710	5	71	181	287	135	211	0	1,356	67	9,966
	23.19	15.45	26.42	18.55	46.71	19.23	2.61	1.42	6.03	18.65	44.74	0.97	22.90	0.16	2.29	5.84	9.26	4.35	6.81	0.00	43.74	2.16	321.48
計	7,211	4,350	9,458	7,136	12,583	7,992	771	752	2,677	6,829	16,939	374	6,649	35	848	3,817	4,162	1,133	2,466	17	15,034	1,309	112,542
	19.76	11.92	25.91	19.55	34.47	21.90	2.11	2.06	7.33	18.71	46.41	1.02	18.22	0.10	2.32	10.46	11.40	3.10	6.76	0.05	41.19	3.59	308.33

6　診療科目別・月別外来患者数の状況表

〔市民病院〕

上段：延　患　者　数
下段：一日平均患者数　　（単位：人）

診療科／月	診療日数	内　科	精神神経科	脳神経内科	小児科	外　科	整形外科	形成外科	脳神経外科	心臓血管外科	小児外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼　科	耳鼻いんこう科	放射線科	計
4	20	6,224	684	372	1,031	1,009	2,174	151	466	25	92	849	2,391	987	1,412	866	458	19,191
		311.20	34.20	18.60	51.55	50.45	108.70	7.55	23.30	1.25	4.60	42.45	119.55	49.35	70.60	43.30	22.90	959.55
5	19	6,398	644	343	1,162	1,027	2,207	149	399	21	85	900	2,292	1,061	1,257	856	397	19,198
		336.74	33.89	18.05	61.16	54.05	116.16	7.84	21.00	1.11	4.47	47.37	120.63	55.84	66.16	45.05	20.89	1,010.42
6	22	6,981	729	380	1,225	1,142	2,352	162	438	31	119	956	2,453	1,227	1,437	924	502	21,058
		317.32	33.14	17.27	55.68	51.91	106.91	7.36	19.91	1.41	5.41	43.45	111.50	55.77	65.32	42.00	22.82	957.18
7	20	6,920	652	328	1,403	1,183	2,063	200	409	36	110	896	2,338	1,079	1,324	858	435	20,234
		346.00	32.60	16.40	70.15	59.15	103.15	10.00	20.45	1.80	5.50	44.80	116.90	53.95	66.20	42.90	21.75	1,011.70
8	22	7,978	615	334	1,513	1,064	2,227	163	383	28	111	982	2,393	1,136	1,326	871	385	21,509
		362.64	27.95	15.18	68.77	48.36	101.23	7.41	17.41	1.27	5.05	44.64	108.77	51.64	60.27	39.59	17.50	977.68
9	20	7,168	806	370	1,253	1,089	2,123	165	415	31	86	816	2,310	1,028	1,381	949	475	20,465
		358.40	40.30	18.50	62.65	54.45	106.15	8.25	20.75	1.55	4.30	40.80	115.50	51.40	69.05	47.45	23.75	1,023.25
10	20	6,789	671	347	1,287	1,155	2,085	178	459	38	74	805	2,279	1,123	1,447	864	496	20,097
		339.45	33.55	17.35	64.35	57.75	104.25	8.90	22.95	1.90	3.70	40.25	113.95	56.15	72.35	43.20	24.80	1,004.85
11	20	7,168	650	319	1,123	1,085	2,139	163	430	40	49	839	2,300	1,102	1,371	868	521	20,167
		358.40	32.50	15.95	56.15	54.25	106.95	8.15	21.50	2.00	2.45	41.95	115.00	55.10	68.55	43.40	26.05	1,008.35
12	20	7,440	693	355	1,350	1,174	2,061	168	461	35	64	796	2,373	1,036	1,407	870	568	20,851
		372.00	34.65	17.75	67.50	58.70	103.05	8.40	23.05	1.75	3.20	39.80	118.65	51.80	70.35	43.50	28.40	1,042.55
1	19	6,632	609	343	1,149	945	2,040	106	324	38	70	677	2,180	907	1,212	735	316	18,283
		349.05	32.05	18.05	60.47	49.74	107.37	5.58	17.05	2.00	3.68	35.63	114.74	47.74	63.79	38.68	16.63	962.26
2	19	6,197	592	325	1,072	889	2,064	160	330	33	72	743	2,103	899	1,331	803	456	18,069
		326.16	31.16	17.11	56.42	46.79	108.63	8.42	17.37	1.74	3.79	39.11	110.68	47.32	70.05	42.26	24.00	951.00
3	22	7,186	698	386	1,245	1,106	2,389	163	466	30	110	826	2,446	961	1,552	1,131	574	21,269
		326.64	31.73	17.55	56.59	50.27	108.59	7.41	21.18	1.36	5.00	37.55	111.18	43.68	70.55	51.41	26.09	966.77
計	243	83,081	8,043	4,202	14,813	12,868	25,924	1,928	4,980	386	1,042	10,085	27,858	12,546	16,457	10,595	5,583	240,391
		341.90	33.10	17.29	60.96	52.95	106.68	7.93	20.49	1.59	4.29	41.50	114.64	51.63	67.72	43.60	22.98	989.26

＊呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・血液内科・腫瘍内科・腎臓内科・糖尿病内科は内科に含む。

7　診療科目別・月別患者数の状況表

〔大江分院〕

上段：　延　患　者　数
下段：　一日平均患者数

【入院】

（単位：人）

診療科／月	診療日数	内　　科	計
4	30	1,446	1,446
		48.20	48.20
5	31	1,333	1,333
		43.00	43.00
6	30	1,402	1,402
		46.73	46.73
7	31	1,492	1,492
		48.13	48.13
8	31	1,526	1,526
		49.23	49.23
9	30	1,468	1,468
		48.93	48.93
10	31	1,465	1,465
		47.26	47.26
11	30	1,254	1,254
		41.80	41.80
12	31	1,215	1,215
		39.19	39.19
1	31	1,327	1,327
		42.81	42.81
2	28	1,377	1,377
		49.18	49.18
3	31	1,456	1,456
		46.97	46.97
計	365	16,761	16,761
		45.92	45.92

【外来】

（単位：人）

診療科／月	診療日数	内 科	小 児 科	リハビリテーション科	計
4	20	1,047	8	89	1,144
		52.35	0.40	4.45	57.20
5	19	1,074	10	97	1,181
		56.53	0.53	5.11	62.16
6	22	1,170	6	71	1,247
		53.18	0.27	3.23	56.68
7	20	1,139	15	59	1,213
		56.95	0.75	2.95	60.65
8	22	1,139	11	70	1,220
		51.77	0.50	3.18	55.45
9	20	1,133	7	51	1,191
		56.65	0.35	2.55	59.55
10	20	1,228	2	72	1,302
		61.40	0.10	3.60	65.10
11	20	1,412	8	56	1,476
		70.60	0.40	2.80	73.80
12	20	1,273	11	58	1,342
		63.65	0.55	2.90	67.10
1	19	1,117	5	51	1,173
		58.79	0.26	2.68	61.74
2	19	978	3	66	1,047
		51.47	0.16	3.47	55.11
3	22	1,119	10	53	1,182
		50.86	0.45	2.41	53.73
計	243	13,829	96	793	14,718
		56.91	0.40	3.26	60.57

8　企業債の償還予定表　〔市民病院〕

区分 年度	元　　金	利　　子	計
	円	円	円
令和5年度	897,001,572	118,792,226	1,015,793,798
令和6年度	862,583,258	109,164,482	971,747,740
令和7年度	776,151,944	99,091,459	875,243,403
令和8年度	729,412,203	88,825,259	818,237,462
令和9年度	626,269,956	78,392,014	704,661,970
令和10年度	526,161,158	67,854,560	594,015,718
令和11年度	493,158,566	57,496,800	550,655,366
令和12年度	503,041,969	47,613,397	550,655,366
令和13年度	468,696,807	37,670,655	506,367,462
令和14年度	450,482,056	28,087,998	478,570,054
令和15年度～令和30年度	1,117,090,005	39,062,085	1,156,152,090
合　　計	7,450,049,494	772,050,935	8,222,100,429

9　企業債の償還予定表　〔大江分院〕

区分 年度	元金	利子	計
	円	円	円
令和5年度	33,263,103	2,323,249	35,586,352
令和6年度	33,488,918	2,097,434	35,586,352
令和7年度	33,718,366	1,867,986	35,586,352
令和8年度	33,951,514	1,634,838	35,586,352
令和9年度	34,188,437	1,397,915	35,586,352
令和10年度	34,429,205	1,157,147	35,586,352
令和11年度	34,673,899	912,453	35,586,352
令和12年度	26,031,286	700,204	26,731,490
令和13年度	9,302,966	598,792	9,901,758
令和14年度	9,165,773	509,727	9,675,500
令和15年度～令和27年度	88,903,378	3,031,712	91,935,090
合計	371,116,845	16,231,457	387,348,302